

足利市の歴史

1921年(大正10年)

- 1月
 - ・市制を施行。足利公園で市制施行祝賀会を行った。
- 3月
 - ・足利学校跡が国の史跡に指定された。
 - ・12日から3日間、第1回市議会議員の選挙を行った。
 - ・市議会が成立した。
- 4月
 - ・第4回市議会で市長候補者を選任した。
 - ・県立足利中学校(現足利高校)が開校した。
- 5月
 - ・史跡『足利学校』の管理者に足利市が指定された。
- 7月
 - ・職業紹介法の施行に伴い、従来民間で取り扱っていた紹介事務を市が扱うことになった。
- 10月
 - ・青年団連合会が成立した。
 - ・市教育会が結成された。
- 11月
 - ・足利市儀礼改善会を組織した。これは冠婚葬祭の儀礼を改善して冗費を節約し、その分を市公共事業に寄付されるように呼びかけたもの。
- 12月
 - ・市庁舎が落成した。

1922年(大正11年)

- 1月
 - ・大字名を廃止するとともに、小字名を改称した。
- 2月
 - ・都市計画調査委員会を設置した。
- 3月
 - ・旧『足利氏宅跡』が国の史跡に指定された。
 - ・初の市営住宅を本城、西宮町に5棟ずつ建設した。
- 4月
 - ・市庁舎落成祝賀式を実施した。
 - ・市職業紹介所設立について、県の認可があった。
- 8月
 - ・市制施行誌を発行した。
- 9月
 - ・足利市報第1号を発行した。
- 10月
 - ・市少年団を結成した。
- 11月

- ・史跡『足利氏宅跡』の管理者に足利市が指定された。
- ・市農会主催による産業共進会が開かれた。

1923年(大正12年)

- 3月
 - ・市小学校教育基金造成会事業を開始した。
- 4月
 - ・足利商業連合会が設立された。
- 5月
 - ・足利公園改良計画を本多静六博士に委嘱した。
- 9月
 - ◆関東大震災が起こった。
 - ・県議会議員の選挙が行われた。

1924年(大正13年)

- 4月
 - ・相生小が開校した。
 - ・西宮町に県立繊維工業試験場が設置された。
- 5月
 - ・水道実地調査のため米元技師を招へいし、嘱託とした。
- 6月
 - ・『足利市史』の資料収集を機会に、大規模な資料展示会を開いた。
- 7月
 - ◆メートル法が実施された。
- 9月
 - ・足利市出身の司法大臣、横田千之助氏の就任祝賀会を開いた。
 - ・足利郵便局が2等局に昇格した。

1925年(大正14年)

- 1月
 - 京都、大阪、名古屋への長距離電話が開通した。
 - ・袋川水門が完成した。
- 3月
 - ・第2回市議会議員の選挙(級別)が行われた。
 - ・足利実践女学校(のちの足利短期大学附属高校)が開校した。
- 8月
 - ・足利市上水道敷設案を発表、予算を示し実現に第一歩をしるした。
 - ・足利市役所で県下初の小作調停裁判が実施された。



▲大正10年・市制施行時の記念写真。



▲大正12年・御厨町役場新築記念時の福居足利通り。



◀大正12年の関東大震災による被災地・東京方面へ、食糧物資の運搬などによる救援活動が行われた。

▶大正13年ごろの織物工場。



◀市制施行祝賀に参加した学生の旗行列。

10月

- ・第1次耕地整理事業(有楽町)が終了した。

11月

- ・市立伝染病院が落成した。

12月

- ・足利内地織物業者が2カ月の休機を決議した。

1926年(大正15年、昭和元年)

2月

- ・渡良瀬川上流改修運動が始まった。

7月

- ・各小学校に青年訓練所を設置した。

9月

- ・足利市消防組常備部を設置した。

10月

- ・工業試験場の内部設備の充実を記念し、同場内で『栃木県蚕糸織物共進会』が開かれ、21日の褒賞授与式には閑院宮載仁親王殿下と藤沢商工大臣が来足した。

12月

- ・田崎草雲の旧屋『白石山房』が蓮岱館から市に寄付された。

◆大正天皇崩御、年号が大正から昭和に変わる。

1927年(昭和2年)

3月

- ・都市計画法第2条による指定を受けた。

6月

- ・助戸小の新築落成式が挙行された。

10月

- ・東武鉄道が全線電化し、初めて足利市に電車が来た。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として大貫助役が渡満した。

◆この年、足利の模様銘仙がデビューした。

1928年(昭和3年)

3月

- ・相生小が新築落成した。
- ・市街地建築物法が足利市に適用された。

4月

- ・上水道敷設案を市議会で承認した。

9月

- ・足利市社会事業協会が発足した。
- ・在満日本人慰安のため、市代表として丸山収入役が

渡満した。

- ・足利市連合女子青年団が発足した。

12月

- ・『足利市史』を発刊した。

1929年(昭和4年)

2月

- ・柳原小の大講堂が落成した。

3月

- ・第3回市議会議員選挙が行われた。

5月

- ・上水道起工式を水源地で開いた。
- ・火災報知機の使用を開始した。

6月

- ・足利市および三重村、山辺村ならびに毛野村のうち岩井、勤農、北猿田、山川、常見の地域が都市計画区域の指定を受けた。
- ・水道配水池の工事に着手した。

7月

- ・足利小唄(作詞・永井白眉、作曲・中山晋平)を藤間久枝さんが振り付けして発表会を開いた。

9月

- ・市会、知事に渡良瀬橋の架替拡張意見書を提出した。

10月

◆世界恐慌が始まった。

1930年(昭和5年)

1月

- ・東武鉄道株式会社が市に中橋の架橋をすすめた。

6月

- ・足利市の街灯が不景気のため廃止された。

9月

- ・第1回足利競馬を開催した。

10月

- ・北部(東西砂原後町)の耕地整理事業が完了した。

11月

- ・中橋通りの拡張に着手した。

1931年(昭和6年)

4月

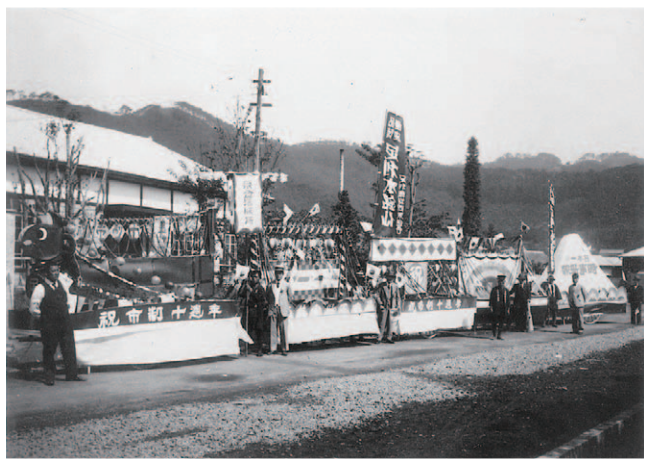
- ・上水道の給水を開始した。(普及率43.8%)

5月

- ・市制施行10周年記念式を挙行政した。

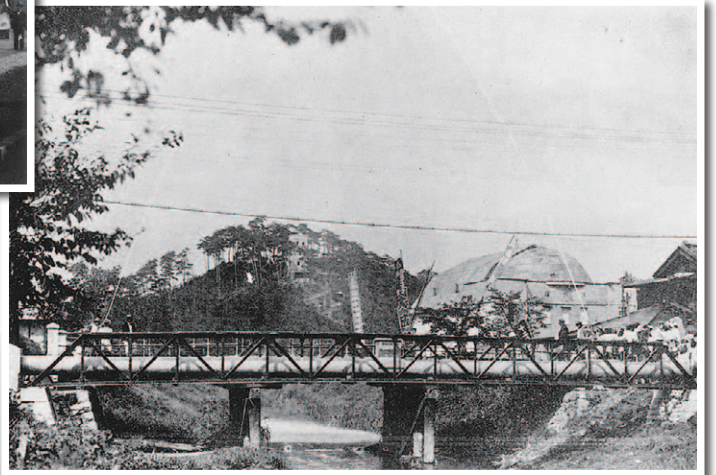


▲昭和初期の頃の市街地。



◀昭和6年5月17日・市制施行10周年記念式。
市役所東の道路上に山車が並んだ。

▼昭和5年ごろ・富永公園南側
で行われた消火栓放水試験。



◀昭和9年4月・足利市実業学校の開校展。

6月

・社会事業協会が、織姫山中腹にサイレンを設置した。

7月

・市無料宿泊所を設置した。

8月

・と場を市営とした。

9月

◆満州事変が勃発した。

◆この年、足利の様銘銘仙が飛躍的に発展した。

1932年(昭和7年)

1月

・社団法人『足利友愛義団』が40年の歴史を閉じて解散した。

6月

・柳原校の西北総2階建て校舎と相生校第4校舎が完成した。

9月

・足利市体育会が発足した。

10月

・東小の東側および北部の校舎が完成した。

11月

・通四丁目に県下初の商業組合が設立された。

1933年(昭和8年)

1月

・両毛線足利駅が新築落成した。

2月

・国際連盟問題で緊急市民大会が開催された。

3月

・第4回市会議員選挙が行われた。

4月

・国宝鑱阿寺大御堂の大修理に着手した。

6月

・両毛駅拡張のため、昭和土地区画整理事業が開始された。

1934年(昭和9年)

1月

・足利市立実業学校の地鎮祭を行った。

3月

・渡良瀬川改修促進について、内務大臣および貴衆両院議員に請願書を提出した。

4月

・各小学校名変更、高等小学校が廃止され、実業学校が開校された。

5月

・中橋の起工式が行われた。

7月

・織姫神社の地鎮祭が行われた。

・衛生会館の上棟式が行われた。

9月

・鑱阿寺の大御堂大改修工事が完了した。

・渡良瀬橋が竣工した。

11月

・昭和天皇が本市に行幸され、水道配水池および県立足利工業学校をご視察された。

・実業学校開校記念式が行われた。

1935年(昭和10年)

1月

・公益質屋『足利屋』が開業した。

4月

・青年訓練所が廃止されて青年学校となった。

10月

・都市計画風致地区を決定した。

11月

・足利市歌と足利市旗を制定した。

1936年(昭和11年)

2月

・衆議院議員の総選挙が行われ、足利市は棄権率8.9パーセントで全国一の投票率を示した。

5月

・市制施行15周年、水道敷設5周年記念式典を挙行了した。

8月

・中橋が竣工し、開通式を行った。

11月

・中橋の完成に伴い、南町に上水道が通水した。

1937年(昭和12年)

3月

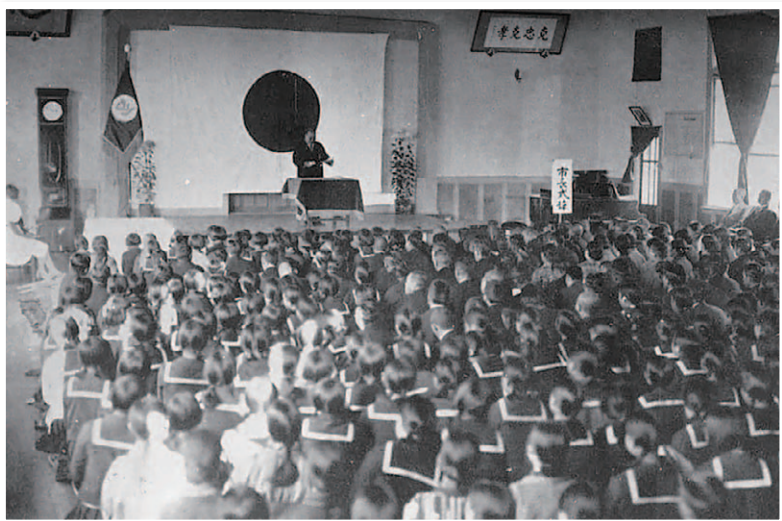
・第5回市議会議員選挙が行われた。

5月

・織姫神社が完成し、遷宮大祭が行われた。

・鑱阿寺の一切経堂修復が完了した。

▶昭和10年11月・西小講堂で市歌と市旗の制定式が行われた。



◀昭和8年ごろ・織物の整理風景。

▼昭和11年・現在の中橋が完成した。



◀昭和9年3月・松田湯ノ沢林道が竣工。
当時は荷馬車が多く使用されていた。

7月

◆日中戦争が始まった。

8月

・足利郵便局が、速達郵便の取り扱いを開始した。

1938年(昭和13年)

4月

・足利市実業学校を足利商工学校と改称した。
・両崖山ハイキングコースが開設された。

7月

・市営職業紹介所が国営となった。

9月

・関東地方一帯を襲った台風で大洪水となり、足利学校や鑿阿寺境内も泥海と化した。全市の損害額は150万円といわれている。

・名草巨石群が国の天然記念物として指定を受けた。

11月

・足利学校中興500年祭を行った。

1939年(昭和14年)

4月

・市警防団(6箇分団)を組織した。

6月

・衛生会館の健康相談所が県立足利保健所となった。

9月

・国防同盟会が廃止され、市内住民の全世帯主で構成する銃後奉公会が発足した。
・足利銘仙の生産が全国一となった。
・名草巨石群が国の天然記念物に指定された。

1940年(昭和15年)

2月

・足利市が『教化都市』に指定された。

10月

・大政翼賛会本部が組織された。
・足利商工会議所が設立された。

11月

・紀元2600年記念式典を柳原国民学校講堂で挙行了た。
・母子寮が落成した。

12月

・町内会組織を新体制に応じたものにするため、町内会規程を公布した。

1941年(昭和16年)

2月

・職業紹介所が国民職業指導所と改められた。

3月

・総合運動場建設について認可があった。

4月

◆全国の小学校が国民学校と改称された。

・各小学校に青少年団が編成された。
・伊勢町十念寺の河原にあった塵芥焼却場を東砂原後町の新築炭化処理場に移した。

5月

・市制施行20周年記念式を挙行了た。
・消防ポンプ自動車を第三、第四、第五分団に配置した。

7月

・大町、助戸町、伊勢町など、主として袋川沿いの町内が水害に遭った。(床上浸水850戸)

8月

・渡良瀬川中橋下の河原で市民ラジオ体操大会を行った。
・消防ポンプ自動車を第一、第二、第六分団に配置した。

11月

・渡良瀬川改修(毛野～桐生)工事の起工式が行われた。

12月

◆太平洋戦争が始まった。

1942年(昭和17年)

1月

・繊維製品の配給消費統制規則が公布された。

2月

・市翼賛壮年団が結成された。
・総合運動場建設地鎮祭が行われた。
・旧柳原小の校舎を移転・改築し、教化会館を設置した。

4月

・市に警防課を新設した。

7月

・柳原小のプールが完成した。

8月

・織姫山中腹のサイレンを山頂に移転し、社会事業協会からこれを市に寄付した。

1943年(昭和18年)

1月

・地域拡張期成同盟を結成し、隣接町村に合併を呼びかけた。



◀▼昭和13年9月1日、関東地方を襲った台風のため、市内は大洪水となり大きな被害をうけた。



▼昭和15年ごろの福居八木町通り。



◀▲昭和16年12月8日、太平洋戦争が起こった。同時に、銃後(戦場の後方)は食糧が自給自足となり、小学生まで麦踏みや脱穀に動員された。

3月

・商工会議所法の廃止に伴い、商工会議所が事実上消滅した。

5月

・市立青年学校を開設した。
・大日北西角から柳原小までの道路拡張工事が竣工した。

9月

・第1回市民皆泳錬成大会を開いた。

1944年(昭和19年)

3月

・実業青年学校を廃止して、市立工業学校(5年制)を設置した。

1945年(昭和20年)

2月

・百頭町が空襲に遭い、約30名が犠牲となった。

5月

・防空法に基づき、市街地の疎開(第1次)を実施した。
○織姫神社大門通り ○現在の昭和通り
・国民義勇隊が組織され、同時に大政翼賛会足利支部、翼賛壮年団、大日本婦人会支部、青少年団などはすべて発展的に解消し、国民義勇隊に一本化された。

8月

・第2次疎開を実施したが、終戦したため中止された。
・空襲を受け、本城二丁目に焼夷弾が落下し、わずかながら被害を出した。

◆太平洋戦争が終結した。

・国民義勇隊が解散した。

9月

・市の警防課および兵事課を廃止した。

10月

・袋川氾濫のため、総合運動場付近および相生町方面に浸水があった。

1946年(昭和21年)

4月

◆女性が参政権獲得後、最初の衆議院議員総選挙が行われた。

・市立工業学校を廃止し、市立商工学校を開校した。

7月

・市制施行25周年記念式典を行った。

10月

◆生活保護法が施行された。

・商工会議所が新たに設立された。

11月

◆新憲法が発布された。

・選挙管理委員会を設置した。

・足利振興祭を行った。

1947年(昭和22年)

4月

・第一回市長公選が行われた。

5月

◆地方自治法が施行された。

8月

・陸上競技場が第3種競技場に公認された。

9月

・昭和天皇が本市に行幸された。

・カスリーン台風により、渡良瀬川、袋川の堤防が決壊し、大被害を受けた。市内の各所が泥海と化し、約2カ月間は商工業活動が止まった。(死者・行方不明319人、流出家屋372戸、床上浸水11,976戸)

11月

・警防団を解体し、消防団を組織した。

◆この年、トリコット生産が盛んになった。

1948年(昭和23年)

3月

・山辺町と協議して、組合方式による自治体警察署を設置した。

4月

・学校教育法の施行に伴い、県立として足利高校、足利工業高校、足利女子高校、市立として足利商業高校、私立として月見ヶ丘高校が開校した。

8月

・足利市体育会が足利市体育協会と改組した。

10月

・市営陸上競技場が完成した。

12月

・地方自治法に基づき、市に監査委員会を設置した。

1949年(昭和24年)

1月

・第1回成人式を挙行した。

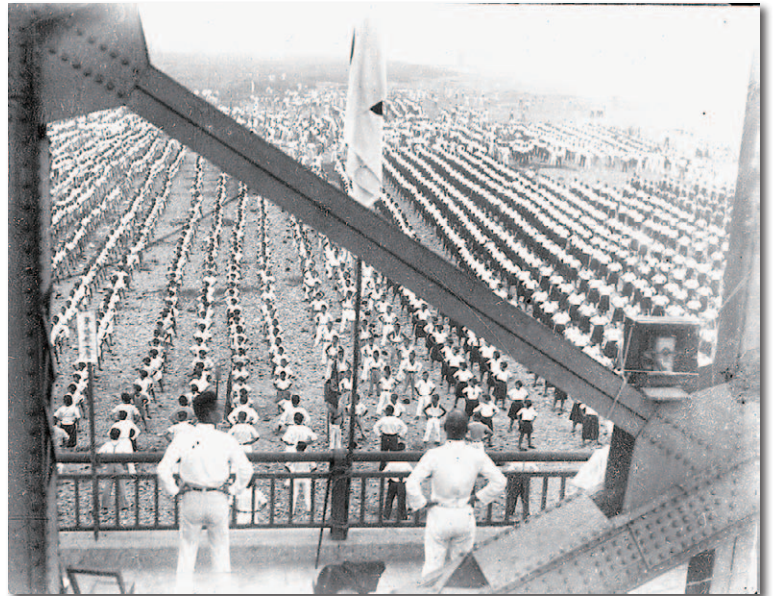


▲昭和20年・男浅間から見下ろした市街地。

▼昭和17年4月・大政翼賛会の選挙が行われた。
当時、一億一心という言葉が盛んに使われていた。



▶昭和26年当時の市議会議場。



▲昭和16年ごろ・渡良瀬川河川敷で行われた市民ラジオ体操。
当時は毎年行われていた。



2月

◆電信、電話関係部門が郵便局から分離した。

3月

・市勢の伸張を図るため『足利市勢振興委員会』を設置した。

4月

・市立商業学校を県立足利高等学校に編入し、校舎を第二中校舎とした。

・第三中の新校舎が落成した。

6月

・消防本部と消防署を設置した。

7月

・未亡人の団体である『白梅会』が結成された。

・足利赤十字病院が発足した。

8月

・戦争で中止されていた名物の七夕まつりや花火大会が12年ぶりに復活した。

◆シャウブ税制勧告が行われた。

1950年(昭和25年)

3月

・第1回市営競馬を開催した。

4月

・教化会館を足利公民館と改称した。

7月

・第一中の校舎1棟が落成した。

10月

・市制施行30年記念式典を挙行政した。

・昭和土地区画整理事業が竣工した。

12月

・新設の庁内電話が開通した。

・毛野村の合併を決議した。

・助戸十念寺土地区画整理事業を開始した。

1951年(昭和26年)

3月

・毛野村を合併した。

・袋川改修工事の竣工式を行った。

4月

・市長、市議同時選挙を行った。

・知事、県議同時選挙を行った。

5月

・新市議による初市会が流会した。

9月

・第一中の校舎1棟が落成した。

◆日米講和条約に調印した。

10月

・市営庭球場が完成した。

1952年(昭和27年)

3月

・市広報紙『あしかがみ』を発刊した。

・市営アパート第1号が助戸大橋町に完成した(三階建て18戸)。

4月

◆日米講和条約が発効した。

5月

・日米講和条約発効記念式を東小で行った。

・新庁舎(現本庁舎別館)開庁記念式を行った。

7月

◆住民登録が施行された。

10月

・初の教育委員選挙が行われた。

11月

・市教育委員会が発足した。

12月

・市営によるし尿の汲み取りを開始した。

1953年(昭和28年)

1月

・山辺町の合併を決議した。

2月

・市営競輪を初めて開催した。

4月

・山辺町を合併した。

・市に収税課、戸籍課を新設した。

5月

・日赤病院の落成記念式が行われた。

1954年(昭和29年)

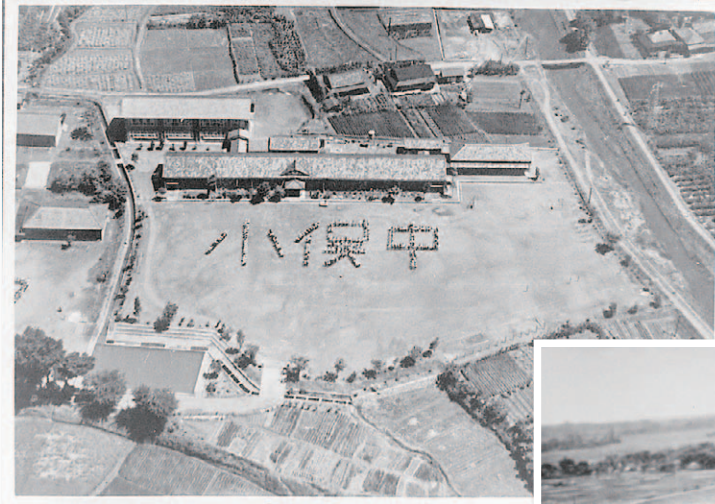
3月

・助戸十念寺土地区画整理事業が竣工した。

4月

◆電話が自動式となった。

・行政町名に千歳町、常盤町等が誕生した。



◀昭和28年10月・小俣中学校(現小俣小学校)。

▼昭和30年・借宿町付近。



◀昭和24年・里矢場町曲田で行われた草競馬。
商品は、タンスや米俵などだった。

▼昭和29年ごろ・通二丁目付近の七夕。



◀昭和30年5月・通四丁目付近。

7月

- ・自治体警察が廃止された。

8月

- ・三重、山前の両村を合併した。

10月

- ・養老院福寿荘の開院式が行われた。
- ・西足利駅が開設された。

11月

- ・北郷、名草の両村を合併した。

1955年(昭和30年)

3月

- ・織姫公民館(通四丁目)が落成した。
- ・第一中の特別教室が焼失した。
- ・山辺小の教室1棟が焼失した。

5月

- ・市営硬式野球場が完成した。

7月

- ・秘書室を新設した。
- ・千歳小の増築校舎が落成した。

8月

- ・緑町配水池増設工事の地鎮祭を挙行了した。

10月

◆国勢調査が行われた。

12月

- ・納税組合連合協議会が発足した。
- ・救急車を配備して、救急業務を開始した。

1956年(昭和31年)

2月

- ・官公衛長月曜会が設立された。

3月

- ・足利郵便局が全焼した。
- ・北郷局電話が足利局に編入された。

6月

- ・新生活運動協議会が発足した。
- ・焼失した第一中の特別教室が落成した。

7月

- ・県南4市対抗競技会が行われた。

8月

- ・緑町配水池の増設工事が完成した。

9月

- ・養護施設『泗水学園』の起工式を行った。

10月

◆教育委員制度が公選制から任命制に変わった。

- ・山川処理場の消化槽起工式が行われた。

11月

- ・織姫山から名草巨石群までの山林が足利県立自然公園の指定を受けた。
- ・市に国民健康保険事務室を開設した。
- ・富田、矢場川村合併問題の大陳情団が出県した。

12月

- ・行政町名に久松町、芳町、花園町、弥生町、真砂町、末広町、富士見町が誕生した。
- ・自治庁振興課長が合併問題の現地調査に来足した。

1957年(昭和32年)

2月

- ・足利地方にしては珍しい降雪があった。

3月

- ・足利市消防団が国家消防本部より表彰を受けた。
- ・山辺中の特別教室が落成した。

4月

- ・各支所を廃し、出張所とした。

5月

- ・養護施設『泗水学園』が開園した。
- ・原水爆禁止協議会足利支部が結成された。

7月

◆国民健康保険を開始した。

- ・農業委員会が一本に結合された。
- ・西出張所の開所式を行った。
- ・農業委員会選挙が行われた。

8月

- ・県内初の地区労働会館が開館した。

9月

- ・山川処理場の消化槽が運転を開始した。
- ・名草財産区有林監視所(巨石荘)が落成した。

10月

- ・トリコット会館が建設された。

11月

- ・富田、矢場村の合併が同時議決された。
- ・根本建設大臣が緑橋、岩井山の視察に来足した。

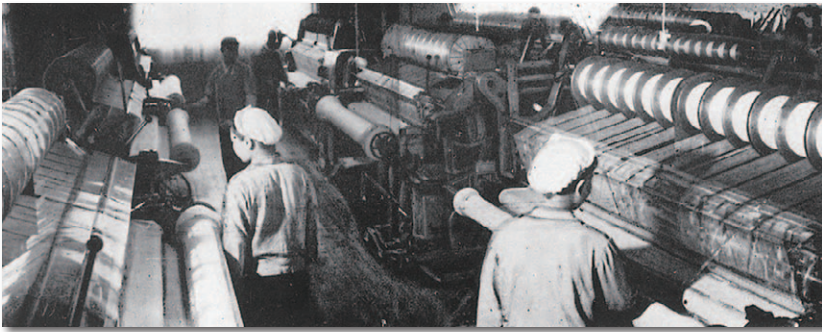
12月

- ・自治会長が一堂に会し、自治振興懇談会を開いた。



◀昭和31年5月・現在の南町緑地南側にあった牡丹園。

▼昭和32年3月・足利市消防団が国家消防本部より表彰を受けた。



▲昭和33年ごろの織物工場。



▲昭和30年5月・五十部町富士見橋付近。



▲昭和31年・渡良瀬橋付近の堤防。



▶昭和30年代の屋台。

1958年(昭和33年)

1月

- ・足利の新歌謡選定のため、西条八十氏が来足した。

2月

◆足利、桐生間の電話が直通になった。

3月

- ・水道庁舎の起工式を行った。
- ・上水道第1次拡張事業が完了した。

6月

- ・両毛線電化促進協議会が発足した。
- ・南極観測船『宗谷』航海長の山本氏が来足した。

7月

- ・御厨町に対し、合併を申し入れた。

9月

- ・矢場川村合併問題について、総理大臣処分が発表された。

11月

- ・織姫公民館が文部大臣表彰を受けた。
- ・山川し尿処理場が完成した。

12月

- ・助戸北部土地改良が完成した。
- ・総合運動場拡張期成同盟が発足した。
- ・水道庁舎が完成した。

1959年(昭和34年)

1月

◆新国民健康保険法が施行された。

3月

- ・第二中の体育館が落成した。
- ・足利新歌謡『あしかが音頭』『あしかがごよみ』の発表会が行われた。

4月

- ・富田村を合併した。
- ・三重中と山前中を統合し、西中とした。

5月

- ・足利公園に野外ステージが完成した。

7月

- ・足利トリコット工業団地が朝倉町に決定された。

8月

- ・常備消防署富田分遣所が落成した。

9月

- ・青少年育成協力会結成大会が開かれた。

10月

- ・渡良瀬川岩井地区改修対策委員会が発足した。

- ・養老院建設にあたり、敷地の提供など多大の貢献をされた吉田ヨネさんの記念碑除幕式を行った。

- ・矢場川村合併問題について、中央の合併調整委員小島憲氏、加藤於菟丸氏、野々山重治氏の3氏が現地調査のため来足した。

- ・利根川治水同盟大会が開かれた。

11月

- ・足利地区住民の声を県政に反映させるため、初の県政座談会が開かれた。

12月

- ・自治会長連絡協議会が発足した。
- ・青少年相談所を開設した。

◆足利～東京間の電話が手動即時通話になった。

1960年(昭和35年)

1月

- ・藤坂峠改修促進同盟が発足した。

2月

- ・郷土出身力士、八染関の十両優勝祝賀会が開かれた。
- ・千歳小、北郷小、毛野小の講堂が落成した。

3月

◆国民年金(福祉年金)の支払いを開始した。

- ・総合運動場の拡張工事が始まった。
- ・矢場川合併調整委員会(自治省)が調停案を提示した。
- ・相生小プールの起工式を行った。

4月

- ・毛野、北郷公民館の起工式を行った。
- ・県道富田跨線橋が開通した。

6月

◆日米新安全保障条約が発効した。

- ・トリコット工業団地の造成に着手した。

7月

- ・矢場川村を分村合併した。
- ・相生小のプールが完成した。
- ・例年8月7日に開催していた花火大会を7月7日に行った。

- ・山辺公民館が落成した。

- ・公文書の横書きを実施した。

- ・市長が北欧視察のために出発した。

8月

- ・ボーイスカウト県大会が本市で開かれた。

- ・北郷公民館が落成した。



◀昭和33年11月・完成した山川し尿処理場。



▲昭和34年ごろの両毛線足利駅。



◀昭和34年9月、足利市青少年保護育成協力が結成され、育成会が各町内につくられた。写真は、昭和38年に結成された足利市青少年育成協議会の設立総会。

▶昭和35年ごろの福寿荘。当時は養老院と称していた。



▼昭和35年の織物会館。現在の織物会館は、昭和43年3月に開館した。



▶昭和35年ごろの足利警察署。



・ローマオリンピック重量挙げ選手・木暮茂夫さんの
壮行会を実施した。

・市長が海外視察を終えて帰足した。

9月

・第一中と第二中の増築校舎が落成した。

・関東8都県陸上競技大会が本市総合グラウンドで行
われた。

・毛野公民館が落成した。

10月

・県民体育祭で足利市が初優勝した。

・織姫跨線橋の起工式が行われた。

・トリコット工業団地の整地が完了した。

11月

・朝倉土地区画整理事業を開始した。

・市営競馬を宇都宮競馬場で開催した。

1961年(昭和36年)

3月

◆足利、富田局の電話が即時通話になった。

・上水道第2次拡張事業が完了した。

・渡良瀬川岩井地区の改修のための用地買収契約を終
了し、工事实施が確定した。

4月

◆旧ソ連が有人宇宙船の打ち上げに成功した。

・山辺中の体育館が落成した。

・毛野南部第一土地区画整理事業を開始した。

5月

・市制40周年記念式典を挙行政した。

・消防分団が改組され、11分団となった。

・西中の校舎が落成した。

7月

・足利土地開発協会が発足した。

・西小のプールが竣工した。

・総合運動場プールが完成した。

・消防署山辺分遣所が開所した。

・関東8都県対抗の庭球大会が行われた。

10月

・総合運動場の完成祝賀体育祭が開催された。

・御厨分遣所、坂西分遣所を開所した。

1962年(昭和37年)

1月

・三重公民館が落成した。

・市道五十部山下線の起工式を挙行政した。

2月

・矢場川地区で県政座談会が開かれた。

・御厨および坂西町合併協議会が開かれた。

◆米国が人間衛星船の打ち上げに成功した。

3月

・交通安全都市を宣言した。

・広報協議会が解散した。

4月

・市が機構改革を実施し、部制をしいた。

・富田小の改築工事が完成した。

・滝の宮住宅団地の建設が始まった。

5月

・鑿阿寺の鐘楼改修完成祝いが行われた。

・交通安全都市推進大会を大日苑で開催した。

・養老院の拡張工事完成式が行われた。

・日本体操祭足利大会が総合運動場で開かれた。

6月

・足利市議会、御厨町議会が御厨町の足利市への合併
を議決した。

・市内にピンポン玉大のひょうが降り、農作物が大き
な被害を受けた。

7月

・市道五十部山下線が開通した。

8月

・坂西町が足利市への合併を議決した。

9月

・柳原共同給食調理場が完成した。

10月

・御厨町と坂西町を合併した。

・有楽町公園の一角に戦没者追悼霊苑が完成した。

11月

・御厨、坂西両町の合併記念式を月見ヶ丘会館で開催
した。

◆電話が東京と即時通話になった。

・トリコット住宅団地第一期工事が完成した。

1963年(昭和38年)

・織姫跨線橋が開通した。

◆電話が宇都宮と自動即時通話となった。

3月

・渡良瀬川岩井分水路起工式が行われた。

・滝の宮、上渋垂、五十部西山、福富に市営住宅108



◀昭和36年・市制40年記念行事のひとつ、
子供こしパレード(トリコット会館前)。

▼昭和37年7月に開通した通称・西中通学道路。



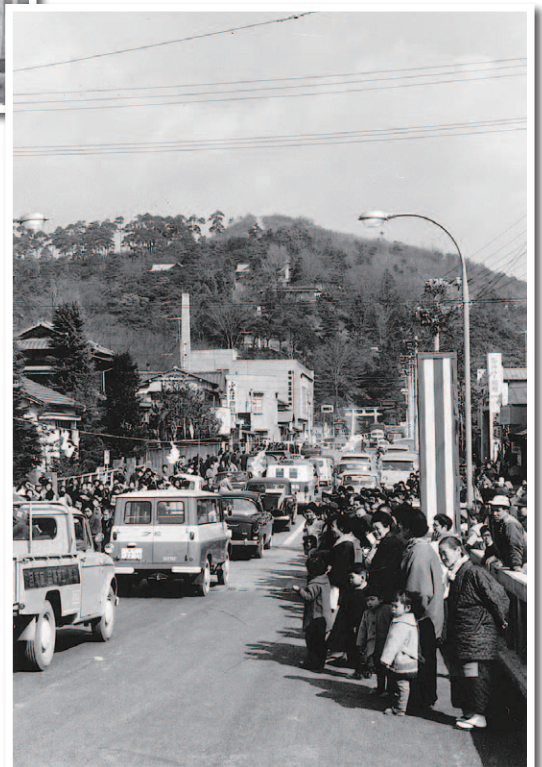
▼昭和37年・中橋通りの朝のラッシュ風景。



▲昭和37年・岩井の渡し舟



▲昭和37年の葉鹿町



▶昭和38年2月・織姫跨線橋の開通式

戸が建設された。

- ・足利駅前土地区画整理事業を開始した。

4月

- ・足利、佐野と畜場組合が発足した。
- ・県道水戸前橋線が1級国道50号となった。
- ・県立足利商業高等学校(現足利清風高校)が開校した。
- ・御厨母子センターが開所した。

5月

- ・朝倉土地区画整理事業が竣工した。
- ・毛野中の体育館が完成した。
- ・高瀬、市場地区の住民代表が市に正式に合併を申し込んだ。

6月

- ・ライシャワー駐日米大使が来足し、足利学校と鑿阿寺を見学された。

7月

- ・足利市街地開発組合が設立された。
- ・県南職業訓練所が完成した。
- ・厚生大臣より保健文化賞を受賞した。

◆太田局とダイヤル直通が開始された。

- ・高校野球県大会で足利工業高校が優勝し、甲子園への出場が決定した。

9月

- ・保健文化都市宣言をした。
- ・山川処理場の増設工事が完成した。

10月

- ・国民健康保険が世帯主7割給付を実施した。

◆日本が初めて原子力発電に成功した

◆ケネディ米大統領がテキサス州ダラス市で暗殺された。

◆日米間でテレビ中継放送が成功した

12月

- ・市民会館建設委員会が発足した。

1964年(昭和39年)

2月

- ・9市競輪組合の設立が認可された。

3月

- ・市内の15農協が3農協に結合された。
- ・大月小が新築落成した。
- ・有楽公園が完成した。

4月

◆日本がOECD経済協力開発機構に加入し、本格的な開放経済体制に入った。

6月

◆新潟地方に大地震が発生し、新潟市などが大被害を受けた。

- ・木村市長が全国市長会副会長に当選した。
- ・1都6県の水防演習が渡良瀬河畔で行われた。

8月

- ・大橋町の浦山重明さんが技能オリンピックで銀メダルを獲得した。

9月

- ・山辺浄水場が完成した。
- ・9月27日を市保健福祉デーと制定した。

10月

- ・御厨、坂西支所を廃止し、出張所とした。
- ・名草財産区10周年記念式が行われた。

◆東海道新幹線が営業を開始した。

◆第18回オリンピック大会が10日から24日まで東京で開催された。

11月

- ・公共下水道の工事を開始した。
- ・首都圏審議会から市街地開発地域に指定された。

1965年(昭和40年)

2月

- ・市民会館建設の地鎮祭を挙行了した。

◆日韓基本条約に仮調印した。

3月

- ・八木節が市の無形文化財に指定された。
- ・両毛食肉処理場が完成した。

4月

- ・暴力追放市民総決起大会を大日苑で開催した。

7月

- ・老人福祉センターが開所した。
- ・上水道第2水源、大前浄水場の通水式を行った。

9月

- ・市と国鉄共済の足利市民号が出発した。

10月

- ・西部ごみ焼却場が完成した。
- ・第1次振興計画を策定した。

11月

- ・両毛線電化工事の起工式が行われた。
- ・三和地区の電話が6局として足利市に編入された。

▶昭和38年6月・ライシャワー駐日米大使が来足した。



▼昭和39年3月に開通した渡良瀬橋沿いの歩道橋工事。



▼昭和40年4月4日・暴力追放市民総決起大会。



▲昭和39年ごろ・通二丁目交差点付近、高島屋前。

▶昭和40年11月・足利局が全国即時通話網に編入され、足利市長と札幌市長の間で記念通話が行われた。



1966年(昭和41年)

1月

- ・トリコット工業団地第1次造成計画が完了した。
- ・市営巴町駐車場が開業した。
- ・市内の一部地域が宅地造成規制区域に指定された。
- ・行政町名に宮北町が誕生した。

2月

- ・田中橋の建設が始まった。

3月

- ・田中町にトリコット文化センターが完成した。
- ・梁田保育所が完成した。

4月

- ・南公民館が落成した。
- ・三和中を坂西中に統合した。
- ・文化財愛護モデル地区に指定された。
- ・市民会館の上棟式が行われた。
- ・市役所に小型コンピューターを導入した。

5月

- ・野球協会結成20周年祝賀会が行われた。
- ・春日住宅団地の造成に着手した。

6月

- ・葉鹿町出身の金子正明さんが世界アマチュアレスリング大会で優勝した。
- ・台風4号のため大きな被害を受けた(雨量163ミリメートル、床上浸水98戸、床下浸水1,478戸、損害額2,200万円)

7月

- ・岩井橋が開通した。
- ・文化財愛護青少年隊発会式が大日苑で行われた。

8月

- ・足利工業高校定時制野球部が全国優勝した。
- ・市道吾妻線の改修が自衛隊により行われた。

9月

- ・市民会館が完成した。
- ・市議会が議員の定数を減らす条例を可決した。
- ・台風26号により大被害を受けた(風速30メートル、雨量152ミリメートル、重症3名、軽傷者6名、家屋の倒壊52戸、半壊41戸、床上浸水76戸、損害額2億3,200万円)
- ・田崎草雲70年法要が長林寺で行われた。

10月

- ・国民健康保険10周年記念式典を市民会館で開催した。
- ・自治会長連絡協議会の主催で、町内自治振興大会が

開催された。

- ・邑楽し尿処理場建設問題で、筑波千原田地区民が西邑楽組合の強行着工を実力阻止した。
- ・堀込滝の宮住宅団地の全計画が完了した。

11月

- ・国道50号バイパス期成同盟会が発足した。

12月

- ・毛野住宅団地の造成が開始された。

1967年(昭和42年)

1月

- ・西電話交換局『62局』が開局した。
- ・田中東部土地区画整理事業を開始した。

2月

- ・足利銀行本店が宇都宮に移転した。
- ・第2分団の詰所が落成した。
- ・坂西中の増築校舎が落成した。

3月

- ・愛宕台中の体育館が落成した。
- ・行政町名の勤農町を廃止し、新たに寿町、若草町が誕生した。

- ・毛野南部第一土地区画整理事業が竣工した。

4月

- ・小俣第二小が開校した。
- ・小俣こども館が開館した。
- ・足利工業大学(現足利大学)が開校した。

5月

- ・県内初の乳児保育所・若葉愛育園が開所した。
- ・草雲美術館の地鎮祭が行われた。

6月

- ・献穀米田植式が島田町、田沼政治氏方で行われた。

7月

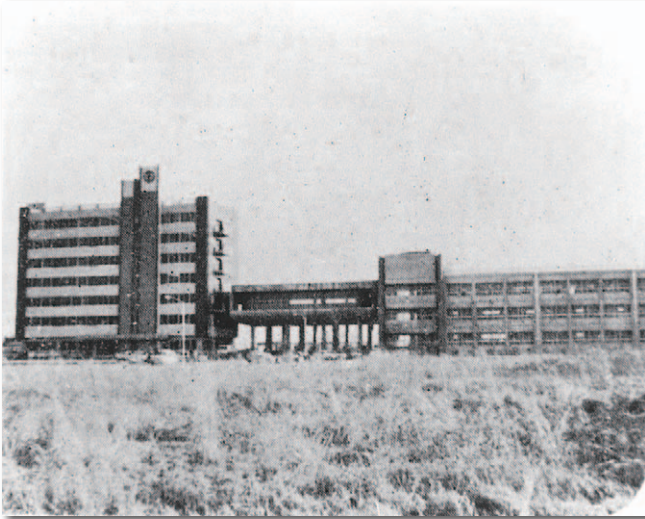
- ・中央商店街防災街区の造成が始まった。
- ・勤労青少年ホームが開館した。
- ・御厨小のプールが完成した。
- ・富田中と矢場川小のプールが完成した。

8月

- ・第5回関東7県対抗陸上競技大会が総合グラウンドで開催された。
- ・足利市内の電話が全部ダイヤル化し、相生局『4』、富田局『9』が開局した。

9月

- ・市民相談室を開設した。



◀昭和42年4月・私立足利工業大学が開校した。

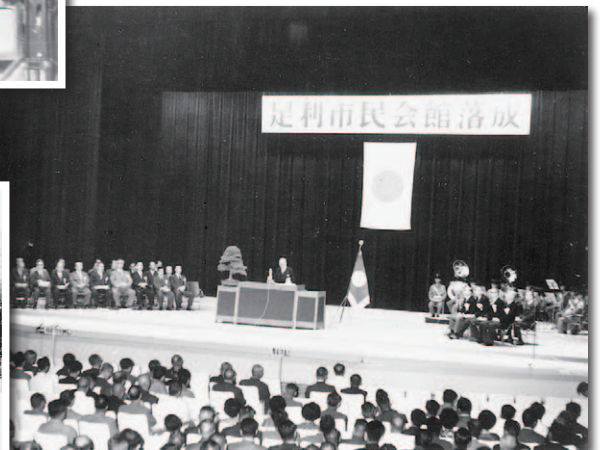
▼昭和42年7月・勤労青少年ホーム開館。



▼昭和42年11月・皇太子殿下(現上皇陛下)が産業視察のためおいでになった。



▲勤労青少年ホームのラウンジ。



▲昭和41年9月・市民会館が落成した。

◀昭和40～50年代の移動図書館。

- ・ 献穀米の刈取式が行われた。
- ・ 公募による市政移動教室が開かれた。
- ・ 木工団地共同工場が御厨工業団地内に建設された。
- ・ 前市長木村浅七氏が名誉市民に推挙された。

10月

- ・ 市民交通傷害保険制度を実施した。
- ・ 御厨義民百年祭が行われた。
- ・ 消防署山辺分遣所の庁舎が落成した。

11月

- ・ 岩井分水路が完成した。
- ・ 葉鹿町出身の金子正明さんがアマチュアレスリング世界選手権大会で2年連続優勝した。
- ・ 地方自治法施行20周年記念式典で足利市と前市長木村浅七氏が自治大臣から表彰された。
- ・ 皇太子殿下(現上皇陛下)が産業視察のため来足された。
- ・ 防災街区造成、大型店舗化のトップを切って市で初のデパート、さくらやが通三丁目に開店した。市で初めてエスカレーターも導入した。
- ・ 自治大臣表彰祝賀、地方自治法施行20周年記念足利市自治振興大会を市民会館大ホールで開催した。
- ・ 電話交換局『7局』(無人交換局)が開局した。

1968年(昭和43年)

1月

- ・ 袋川跡地に公園や駐車場の造成を始めた。

2月

- ・ 工場火災、青酸カリ流出事件が起こった。

3月

- ・ 足利市共同職業訓練所が完成した。
- ・ 上水道第3次拡張事業と工業用水道第1期建設工事が完了した。
- ・ 足利織物会館が開館した。
- ・ 敬老年金制度が新設された。

4月

- ・ 足利市農業共済組合と御厨農業共済組合が合併した。
- ・ 市の行政機構を改革し、それに併せて参事、主幹、主査制度を実施した。
- ・ 助戸小、山辺小の改築工事が完成した。
- ・ 名草診療場が開所した。
- ・ 馬打林道が完成した。
- ・ 三和公民館が完成した。

5月

- ・ 草雲美術館が落成した。

6月

◆小笠原諸島が23年ぶりに返還された。

7月

- ・ 商工会議所が通四丁目から有楽町へ移転した。

8月

- ・ 初の町内座談会を開いた。

10月

- ・ 両毛線が全線電化し、東足利・西足利・三重・葉鹿の各無人駅が廃止された。
- ・ 葉鹿町出身の金子正明さんがメキシコオリンピック・レスリングフェザー級で金メダルを獲得した。
- ・ 市民交通傷害保険制度を県交通災害共済制度へ切りかえた。

- ・ 足利市体育協会20周年記念式が行われた。

◆明治百年記念式典が日本武道館で行われた。

11月

- ・ 自治体消防20周年記念式典が市民会館で行われた。
- ・ 初の足利市勤労者表彰が行われた。

12月

- ・ 足利駅前広場が完成した。

1969年(昭和44年)

2月

- ・ 協和中の体育館が完成した。
- ・ 両毛地域開発推進協議会が結成された。

3月

- ・ 大正町の消防本部庁舎が完成した。
- ・ 足利警察署庁舎(現市役所教育庁舎)が完成した。
- ・ 織姫排水路が完成した。
- ・ 東橋公園が完成した。
- ・ 西足利駅跡地に栄町児童公園が完成した。

4月

- ・ 昼間の二部定時制の県立足利女子高校西分校(昭和47年に県立西高校となる)が開校した。

5月

- ・ 足利バイパス(現国道50号)建設促進協議会が発足した。
- ・ 草雲美術館が開館した。
- ・ 西部学校給食共同調理場が完成し、市内の全小・中学校の完全給食が実現した。
- ・ 足利バイパス建設予定地の測量が始まった。
- ・ 初の消費生活モニターを委嘱した。

7月

- ・ 交通安全モデル地区(10町内)を指定し、町内ぐるみ



▲昭和44年10月・足利市自治会長連絡協議会結成10周年記念式典が行われた。

▼昭和43年7月・一部架け替え工事中の葉鹿橋。



◀昭和43年10月1日・両毛線が線増、電化された。

▶昭和43年11月・葉鹿町出身の金子正明選手がメキシコオリンピック、レスリングフェザー級で優勝し、市内パレードが行われた。



◀昭和44年・有料だったころの田中橋。

の交通事故防止を進めた。

・栃木県総合防災訓練が渡良瀬川中橋下流右岸を中心に行われた。

◆米国宇宙船アポロ11号が月面着陸に成功した。

8月

・五十部町の運動場兼競馬場が完成した。
・東山トンネルの工事が始まった。

9月

・第7分団の詰所(山下町)が完成した。
・雇用促進住宅が新宿町に完成した。

10月

・遺児手当の支給が実施された。
・足利市自治会長連絡協議会の結成10周年記念式典が開催された。

11月

・青少年育成会創立10周年記念式典が開催された。
・新都市計画法の公聴会が織物会館で開かれた。
・三和簡易水道の起工式が行われた。
・足利赤十字病院の新館が完成した。
・鉄工団地の起工式が行われた。

1970年(昭和45年)

1月

・田中橋が県下初の有料橋として開通した(昭和51年4月から無料となった)。

2月

・織姫公園の起工式が行われた。
・春日住宅団地の造成が完了した。
・坂西中の体育館が完成した。

3月

・西小と月谷分校の改築校舎、三重小の講堂兼体育館が完成した。
・山川こども館が完成した。
・梁田公民館が完成した。

4月

・東山トンネルが開通した。
・みなみ保育所が開所した。
・西小の校舎が完成した。

5月

・市制50周年記念式典を行った。
・市民憲章を制定した。
・『若者の町宣言』を行い、ヤングヤング大行進や若者の町の愛唱歌の募集など、各種行事が実施された。

7月

・錦町の住宅団地造成に着手した。

8月

・公害対策本部を設置した。
・行政町名に福富新町が誕生した。

9月

・近代足利市史編さん委員会が発足した。
・電話の市内局番が2ケタになった。

10月

・交通指導員を初委嘱した。

11月

・天王浄水場が完成した。
・第19分団の詰所(松田町)が完成した。
・第1回消費生活展が開かれた。

12月

・三和簡易水道が完成した。
・消防本部にはしご付き消防ポンプ自動車を配置した。

1971年(昭和46年)

1月

・羽刈工業団地の造成が終了した。

3月

・第2次振興計画を策定した。
・御厨小と第二中の校舎が完成した。
・大月小の講堂兼体育館が完成した。
・久保田工業団地の造成が完了した。
・毛野第2住宅団地の造成が開始された。
・葉鹿保育所が新築移転した。
・荒金工業団地の造成が終了した。
・足利駅南土地区画整理事業を開始した。

4月

・昭和通りに市内初の横断地下道が作られた。
・行政町名に伊勢一丁目～三丁目が誕生した。

5月

・10年年金の支給が開始された。
・初の技能奨励賞の贈呈式が行われた。
・足利駅前土地区画整理事業が竣工した。

7月

・五十部運動公園のプールがオープンした。
・軟式野球場のナイター設備が完成した。
・協和中のプールが完成した。

8月

◆ニクソン・ドルショックが起こる。



◀▼昭和46年5月・9年間にわたる駅前土地区画整理事業が竣工した。



▼昭和45年6月・大月助戸工業団地の造成が完了した(写真は昭和50年)。



▲昭和45年当時の市議会。この頃の議場は現在の本庁舎別館にあった。



◀昭和46年・本市を代表する産業のひとつ、トリコットの縫製風景。

▶昭和46年4月・市内で初めての地下道が昭和通りにつくられた。



9月

- ・小俣公民館が完成した。

10月

- ・国に先がけ、老人医療費助成制度を新設した。
- ・田中東部土地区画整理事業が竣工した。

12月

- ・中央商店街防災建築街造成工事が完了した。
- ・名草中の校舎が完成した。
- ・野田団地の造成が開始された。

1972年(昭和47年)

2月

- ◆冬季オリンピックが札幌で開催された。

3月

- ・足利学校の学校門復元工事が完成した。
- ・御厨小、毛野小、第二中の校舎が完成した。
- ・筑波小の講堂兼体育館が完成した。
- ・久野公民館が完成した。
- ・東部学校給食共同調理場が完成した。
- ・勤労青少年体育センターが完成した。
- ・第9分団の詰所(名草中町)が完成した。
- ・通七丁目切り通しの拡幅工事が完成した。
- ・上水道第4次拡張工事が完了した。

4月

- ・消防署南分署を開設した。
- ・機動係を新設した。
- ・八幡こども館が開館した。
- ・朝倉跨線橋が開通した。

6月

- ・老人ホーム『福寿荘』の改築工事が完成した。

7月

- ・住民登録人口が16万人を超えた。
- ・小俣小と坂西中のプールが完成した。
- ・足利バイパスの新設工事の起工式が行われた。

9月

- ・八坂工業団地の造成が完了した。

10月

- ・乳児医療費の無料化を実施した。
- ・毛野第2住宅団地の造成が完了した。

11月

- ・新松田川橋が開通した。

12月

- ・市役所新庁舎の起工式を行った。

- ・江川利保土地区画整理事業が開始された。

1973年(昭和48年)

1月

- ・毛野小の校舎が完成した。
- ・山辺東部土地区画整理事業を開始した。

2月

- ・三重小の校舎が完成した。
- ・問屋団地の第1期工事が完成した。

3月

- ・御厨小の講堂兼体育館が完成した。
- ・錦町に交通教育センターが完成した。
- ・御厨公民館が完成した。
- ・野田団地の造成が完了した。

4月

- ・南小が開校した。
- ・両毛地区広域市町村圏事務組合が設立された。
- ・市政テレホンガイドを開設した。

5月

- ・栃木放送足利放送局が開局した。
- ・初の市政モニターを委嘱した。

7月

- ・大月小のプールが完成した。
- ・第1回市政に関する提言集会が開かれた。

9月

- ・初の郷土芸能大会が行われた。
- ・鑿阿寺楼門、太鼓橋の修復工事が完了した。

10月

- ・織姫公園の一部を開園した。
- ・人生記念植樹の第1回植樹式を行った。
- ・下水道の終末処理場(のちの水処理センター)の起工式を行った。
- ・御厨工業団地の造成が完了した。

- ◆ドルショックで株価が暴落した。

11月

- ・久野保育所が開所した。

12月

- ・足利学校聖廟の修復工事が完成した。
- ・第14分団の詰所(久保田町)が完成した。

1974年(昭和49年)

3月

- ・北郷小、南小、三和小の校舎が完成した。



◀昭和47年1月・自動車排出ガス公害に対応するため、排出ガス測定装置が織姫公民館前に設置された。

▶昭和48年10月・御厨工業団地の造成が完了した。手前は問屋団地(写真は昭和50年)。



◀昭和47年4月・開通した朝倉跨線橋。



▲昭和46年7月・五十部運動公園にプールを開設した。



◀昭和49年8月・老人福祉バス『長寿号』が運行を開始した。

- ・久野小の講堂兼体育館が完成した。
- ・福居保育所が完成した。
- ・筑波公民館が完成した。
- ・毛野南部第2土地区画整理事業を開始した。

4月

- ・新庁舎の開庁式を行った。
- ・市の機構改革で6部34課となった。
- ・市役所に電送ファクスが新設された。
- ・上水道第5次拡張事業を開始した。
- ・印鑑登録証明制度を実施した。併せて地区公民館を充実し、出張所を連絡所に改めた。
- ・行政町名に間屋町が誕生した。
- ・行政町名に毛野新町一丁目～四丁目が誕生した。

6月

- ・初のオリエンテーリング大会が行われた。

7月

- ・山前小の校舎が完成した。
- ・南小のプール、小俣第二小と北郷小、月谷分校にミニプールが完成した。

8月

- ・老人福祉バス『長寿号』が運行を開始した。

9月

- ・市民会館別館が完成した。
- ・名誉市民木村浅七氏をたたえるため、市役所正面玄関に顕徳像が建てられた。
- ・市の木に『かえで』市の花に『つつじ』を制定した。
- ・教育庁舎(現本庁舎別館)の改造工事が完成した。
- ・総合運動場に弓道場が完成した。
- ・新庁舎の落成式を行った。
- ・市内初の自転車専用レーンが設置された。

11月

- ・足利バイパスの一部が仮開通した。

1975年(昭和50年)

1月

- ・三重小の校舎と、南小の講堂兼体育館が完成した。
- ・水道庁舎の改造工事が完成した。
- ・経済変動緊急対策会議を新設した。
- ・西部ごみ焼却場の建設に着手した。

2月

- ・錦町住宅団地が完成した。(11棟272戸)
- ・東部清掃事業所に総合脱臭装置が新設された。

3月

- ・小俣小、山前小、柳原小の校舎が完成した。
- ・きた保育所が完成した。
- ・山前公民館が完成した。
- ・近代的な母子寮が完成した。

4月

- ・消防署西分署を開設した。
- ・栃木放送で『足利市民の時間』の放送を開始した。

5月

- ・西幸楽荘が完成した。

6月

- ・浩宮さま(現天皇陛下)が地理研究会の春の見学会で足利市においてになった。
- ・柳原小、毛野中、北郷中のプールが完成した。

7月

- ・県消費生活センター県南支所がオープンした。

◆沖縄国際海洋博が開催された。

8月

- ・行道山浄因寺境内が県の名勝に指定された。

9月

- ・足利市緑化推進協議会が発足した。

11月

- ・栗田美術館が開館した。

12月

- ・足利バイパスが暫定2車線で全線開通した。
- ・柳原歩道橋が完成した。
- ・葉鹿熊野土地区画整理事業が開始された。

1976年(昭和51年)

1月

- ・梁田小の講堂兼体育館が完成した。
- ・毛野第1団地の造成が完了した。

2月

- ・西中の校舎が完成した。

3月

- ・柳原小、相生小、小俣小の校舎が完成した。
- ・千歳町団地が完成した。(2棟40戸)
- ・市民生活環境基準を策定した。
- ・柳原小の講堂兼体育館が完成した。
- ・泗水学園の園舎が完成した。

4月

- ・県立足利南高校が開校した。
- ・田中橋が無料になった。
- ・織姫公園が完成した。

▼昭和50年2月・錦町市営住宅団地の造成が完了した。



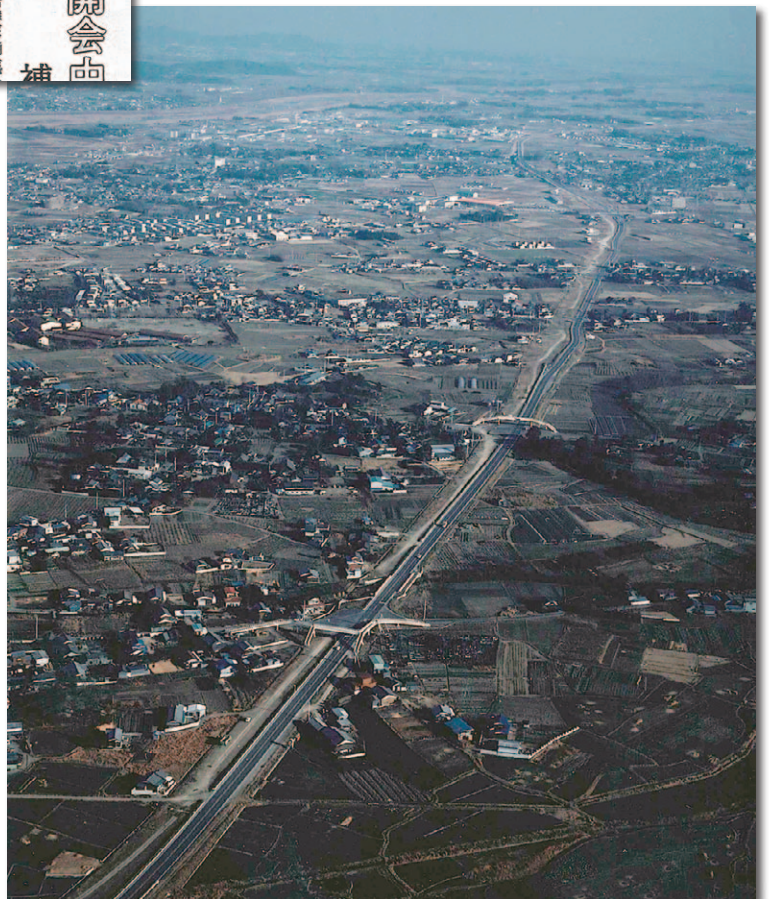
▲昭和51年11月より指定袋によるごみの収集が開始された。



◀昭和49年10月1日号のあしかがみ。

▼昭和50年12月・新国道50号(足利バイパス)が暫定2車線で全線開通した。

▼昭和51年9月・急増するごみに対応するため、西部清掃事業所が大前町に完成した。当時、ごみ焼却の余熱を利用したお湯が、隣接する西幸楽荘に供給されていた。



- ・三重保育所が開所した。
- ・しんまち保育園が開所した。
- ・香典返し辞退運動が実施された。

5月

- ・夜間救急診療所が開設された。
- ・大月小の校舎が完成した。
- ・知事を囲んで県政を語る会が開かれた。
- ・都市総合交通規制が実施された。

6月

- ・第3次足利市振興計画(基本構想)を策定した。

8月

- ・野外趣味活動施設『足利サンフィールド』がオープンした。

9月

- ・西部ごみ焼却場焼却炉の改修が完成した。

10月

- ・母子家庭医療費の無料化を実施した。
- ・ごみ非常事態宣言を行った。

11月

- ・指定袋によるごみ収集を開始した。
- ・斎場が完成した。
- ・都市緑化モデル事業に着手した。
- ・第16分団の詰所(葉鹿町)が完成した。
- ・赤松台住宅団地造成が開始された。

12月

- ・市民体育館の起工式を行った。

1977年(昭和52年)

1月

- ・山前小、三和小の講堂兼体育館が完成した。

2月

- ・公設地方卸売市場が開場した。
- ・行政町名に小俣南町が誕生した。

3月

- ・市内の3農協が合併し、1農協となった。
- ・柳原小、御厨小、相生小、毛野中の校舎が完成した。
- ・大月・助戸工業団地の造成が完了した。
- ・小俣町に白髭浄水場が完成した。

4月

- ・市役所に市民資料室が開設された。
- ・足利バイパスが国道50号となり、これまでの国道50号が県道桐生岩舟線になった。
- ・大前保育所が開所した。

- ・市道大月大沼田線が開通した。

- ・伊勢町跨道橋が開通した。

5月

- ・巴町駐車場が立体化した。
- ・市道町田水源池線が開通した。

6月

- ・健康相談110番を開設した。

7月

- ・第1下水処理場(水処理センター)が供用を開始した。
- ・阿字ヶ浦に『足利市海の家』を開設した。

8月

- ・第35回国民体育大会足利市準備委員会が発足した。

9月

- ・朝倉運動場が完成した。

10月

- ・東武鉄道高架事業が開始された。

11月

- ・地方自治法30年記念行事が行われた。

12月

- ・渡良瀬運動公園が完成した。
- ・田中西部土地区画整理事業を開始した。

1978年(昭和53年)

2月

- ・名草中に体育館(市立で13番目)が完成した。

3月

- ・市営新山団地が完成した。(9棟210戸)
- ・赤松台住宅団地の造成が完了した。
- ・南部第2学校給食共同調理場が完成した。
- ・相生小の増改築工事が完成した。

4月

- ・山辺中、松田小の校舎が完成した。
- ・毛野浄水場が完成した。
- ・赤松台浄化センターがオープンした。

4月

- ・小俣公民館南分館がオープンした。
- ・名草保育所(市立14番目)を開所した。
- ・毛野南小(26番目)が開校した。
- ・城の腰駐車場(旧袋川上)が開設された。
- ・行政町名に赤松台一丁目、赤松台二丁目誕生した。

5月

- ・第35回国体『栃の葉国体』足利市実行委員会が発足した。
- ・市民体育館が完成し、記念行事として日中交歓卓球



◀昭和53年3月に造成を完了した新山市営住宅団地。

▼昭和53年5月、市民体育館が落成した。



▶昭和53年7月・全足利が全国都市対抗野球大会(後楽園)に初出場し、約4千人の市民がスタンドから声援を送った。



▼昭和52年開通当時の市道大月大沼田線。通称自衛隊道路。



▶昭和53年11月の赤松台住宅団地。

大会(足利大会)が開催された。

- ・筑波小が完成した。

6月

・関東高校レスリング大会(国体リハーサル大会)が開催された。

- ・足利市産業展が開催された。

7月

- ・日中友好足利市各界代表团(第1回)が訪中した。
- ・全足利が全国都市対抗野球大会に初出場した。

8月

- ・サイクリング道路『袋川自転車道』が開通した。
- ・特色あるまちづくり推進研究会が発足した。

10月

- ・第13分団の詰所(小曾根町)が完成した。

1979年(昭和54年)

1月

- ・三笠通り駐車場が完成した。

2月

- ・松田小の講堂兼体育館が完成した。
- ・八幡町に市営住宅(1棟30戸)が建設された。
- ・『栃の葉国体』足利市民運動推進協議会が発足した。

3月

- ・矢場川小、葉鹿小(1期分)、山辺中の校舎が完成した。
- ・富田中の移転新築校舎が完成した。
- ・板倉保育所の移転改築工事が完成した。
- ・身障者福祉バス『あおぞら号』の運行が開始された。
- ・毛野南小の講堂兼体育館が完成した。
- ・足利市街地開発組合が解散した。

4月

- ・火災報知機が廃止された。
- ・わたらせ保育所(市立15番目)が開所した。
- ・足利短期大学が開校した。
- ・『伝統的文化都市環境保存地区整備事業』の都市に指定された。

5月

- ・勤労身障者スポーツセンターがオープンした。
- ・初の『市民と市長の対話の日』が設けられた。

7月

- ・日中友好足利市各界代表团が訪中した。
- ・関東1都6県の連合水防演習が行われた。

8月

- ・富田中に体育館が完成し、市内全中学校への設置が

完了した。

10月

- ・米飯給食を開始した。
- ・南部第3学校給食共同調理場が完成した。
- ・西暦2000年を目標にした『緑のマスタープラン』づくりのための研修会を開催した。

11月

- ・あずま地下道が開通した。
- ・利保橋が開通した。

1980年(昭和55年)

1月

- ・福富町の市営住宅が完成した。
- ・全日本総合団体卓球選手権大会(国体リハーサル大会)が開催された。

2月

- ・葉鹿小(2期分)が完成した。

3月

- ・松田保育所の増改築工事が完了した。
- ・林業振興センター(巨石荘)が完成した。
- ・山辺中の校舎が完成した。
- ・三重公民館移転改築工事が完了した。
- ・助戸小の校舎が完成した。

4月

- ・総合福祉センターが開館した。
- ・大橋小(市立27番目)が開校した。
- ・県知事の認許可事務の一部が市に委譲された。
- ・市道三重小俣線が開通した。
- ・小俣第二小の校舎が完成した。
- ・日中友好足利市各界代表团が訪中した。
- ・伊勢地下道が開通した。
- ・川崎橋が開通した。
- ・県立足利図書館が開館した。

5月

- ・市民総ぐるみクリーン運動が開始された。
- ・足利市ボランティア連絡協議会が結成された。

6月

- ・両毛駅前線(グランド通り)を整備、拡幅した。

7月

- ・東武鉄道高架線が開通した。
- ・足利駅南土地区画整理事業が竣工した。
- ・『栃の葉国体』100日前市民のつどいが開催された。
- ・渡良瀬川にこどもつり場が開場した。

▶昭和55年4月・新松田川橋から小俣公民館の南まで直進する、市道三重小俣線が開通した。



▼高架になる前の足利市駅。



◀昭和55年7月・延長2.98キロの東武鉄道高架線が開通した。

▼昭和55年10月・栃の葉国体が開催され、本市ではラグビー、卓球、レスリングが行われた。

▼昭和54年11月・足利駅南土地区画整理事業の一環として、足利駅の東、伊勢町四丁目地内に、両毛線の下を南北に結ぶ『あずま地下道』が開通した。



・渡良瀬川左岸の新しい堤防護岸(階段式)工事が一部が完成した。

8月

・第1回足利市長杯選抜ソフトボール大会が開催された。
・山前プール(西部清掃事業所内)が完成した。

9月

・伝統的文化都市環境保存地区整備事業(鑿阿寺外周と足利学校入口付近)が行われた。

10月

・第35回国民体育大会『栃木国体“栃の葉国体”』が開催され、足利市でラグビー、卓球、レスリングの3種目が行われた。

・足利駅南口が開設された。
・足利駅前自転車駐車場が開場した。
・市民体育館前の地下道が開通した。
・『栃の葉国体』炬火(ひらくあしたの火)の採火式が足利学校で行われた。

・秩父宮妃殿下が国体視察においでになった。
・消防訓練塔が完成した。

11月

・研修センター(現市民プラザ別館)が開館した。

1981年(昭和56年)

1月

・『足利市の教育目標』を策定した。

2月

・足利市総合会館(市民プラザ)の一部(総合会館・勤労婦人・勤労福祉の各センター)が開館した。
・勤労者文化祭を開催した。
・江川利保土地区画整理事業が竣工した。

3月

・南部ごみ焼却場の建設に着手した。
・千歳町に市営住宅が完成した。
・北郷小月谷分校が完成した。
・行政町名に江川町一丁目～三丁目、利保町一丁目誕生した。

4月

・機構改革を行い、市の組織を10部48課とした。
・『市民の消費生活をまもる条例』が公布された。
・保健センターが開館した。
・南幸楽荘が開館した。

5月

・市制施行60周年記念式典を行った。

・市有施設の『一日施設長』を市民に委嘱した。

・足利競馬場内にポニーランドを開設した。

・大日苑の外濠に子供たちがひ鯉や錦鯉を放流した。

・国体記念市民運動推進協議会が発足した。

・足利市日中友好協会の事務所が、水道庁舎内に開設された。

9月

・足利市民文化賞を創設した。
・足利市産業振興貢献企業表彰制度を新設した。
・織姫公民館が通六丁目に完成した。

11月

・第1回尊氏公まつりが行われた。
・借宿緑地が完成した。

12月

・(財)足利市民文化財団が設立された。
・ブルガリア人民共和国副首相が来足した。

1982年(昭和57年)

1月

・(社)シルバー人材センターが設立された。
・足利市駅南側にバスターミナルが完成した。
・(財)足利市民文化財団の事業が開始された。

2月

・新居善太郎氏が名誉市民に推挙された。

3月

・東小が永楽町に移転した。
・両毛線足利駅前にパーキングメーターが設置された。
・御厨公民館にふるさと資料館が完成した。
・毛野公民館が完成した。
・水道創設50周年の記念式典を行った。
・国道50号に植木野高架橋、只上高架橋が完成した。
・南部浄水場が完成した。

4月

・名誉市民故木村浅七氏の市民葬が行われた。
・鎌倉市と姉妹都市を締結した。
・公益質屋が廃止された。

6月

・県下初の教育訪中団の結団式が行われた。
◆東北新幹線が開業した。

8月

・観光用に利用する自転車を商店などに設置した。

9月

・足利市教育訪中団を派遣した。



◀昭和54年当時の通二丁目スクランブル
交差点の様子。

▶昭和55年・ヤングヤング大行進。



▼昭和55年・市内で開催された国体の
ラグビーの様子。



▼昭和40～50年代・子どもたちで賑わう足利
サンフィールド。



- ・県南流通センターが完成した。
- 10月
- ・葉鹿熊野土地区画整理事業が竣工した。
- ・ボランティア通訳登録制度が創設された。
- ・都市緑化基金賞を受賞した。
- ・行政町名に葉鹿町一丁目、葉鹿二丁目が生じた。

- 11月
- ・市民プラザの文化ホールが開館した。
- ・中国友好まつりが開催された。
- ・市民愛唱歌『われらのまちに』を制定した(平成23年4月から市歌)。

- 12月
- ・緑化推進都市を宣言した。

1983年(昭和58年)

- 1月
- ・足利市建築文化賞を創設した。

2月

◆老人保健法が施行された。

- ・聴覚が不自由な人に、電話ミニファクスが設置された。
- ・第11分団の詰所(里矢場町)が完成した。

3月

- ・西小の特別教室棟が完成した。
- ・水処理センターの第二系列工事が完了した。
- ・国道50号に八木高架橋が完成した。
- ・葉鹿公民館が完成した。
- ・緑橋右岸西部土地区画整理事業を開始した。

4月

- ・(財)足利市緑化推進協議会が設立された。
- ・ねたきり老人介護者援護事業がスタートした。
- ・福祉タクシー制度が新設された。
- ・有料の家庭奉仕員の派遣を始めた。
- ・北郷中と名草中を統合して北中が開校した。

6月

- ・南部清掃工場(現南部クリーンセンター)が稼働し、6年9カ月ぶりにごみ非常事態宣言が解除された。
- ・両毛5市水道災害相互応援協定の調印式が行われた。
- ・資源ごみ集団回収事業の奨励金制度がスタートした。

7月

- ・セミナーハウス(旧名草中)が開館した。
- ・初の外国人の英語指導助手が来足した。

8月

- ・両毛5市市長会議(第1回)が開催された。

◆金融機関が土曜休業になった。

- ・東武足利市駅構内に観光物産展示場が設置された。
- ・足利市に在住する外国人が国民健康保険に加入できるように条例を改正した。

10月

- ・足利市行政改革推進調査会が設置された。
- ・足利市農業研修センターが完成した。

1984年(昭和59年)

1月

- ・足利市建築文化賞の表彰式(第1回)を行った。
- ・第19分団(小俣)の詰所(小俣町)が完成した。

2月

- ・名誉市民故新居善太郎氏の追悼式が行われた。
- ・江川利保第二土地区画整理事業が開始された。
- ・日本リーグ・バレーボール男子足利大会が行われた。

3月

- ・小俣駅前に自転車駐車が完成した。

4月

- ・西幸楽荘が新装開館した。

5月

- ・大岩町に『少年の砦』を開いた。

6月

- ・両毛5市教育長会議(第1回)が開催された。
- ・『広報あしかがみ』創刊800号記念広報展を開催した。

7月

- ・じゃぶじゃぶ池が仮オープンした。

◆'84栃木博が開催された

8月

- ・緑橋左岸土地区画整理事業を開始した。

9月

- ・中国山東省済寧市と友好都市を締結した。
- ・栃木総合防災訓練が渡良瀬川で行われた。

10月

- ・元足利市長故長竹寅治氏の合同葬が行われた。
- ・市民スポーツ賞の表彰式(第1回)が行われた。

11月

- ・うるおいのあるまちづくり優良地方公共団体として、自治大臣から表彰された。

- ・協和中の移転新築工事が完成した。

- ・市街地再開発ビル『フェースA』が完成した。

12月

- ・鏝阿寺経堂が国の重要文化財に指定された。

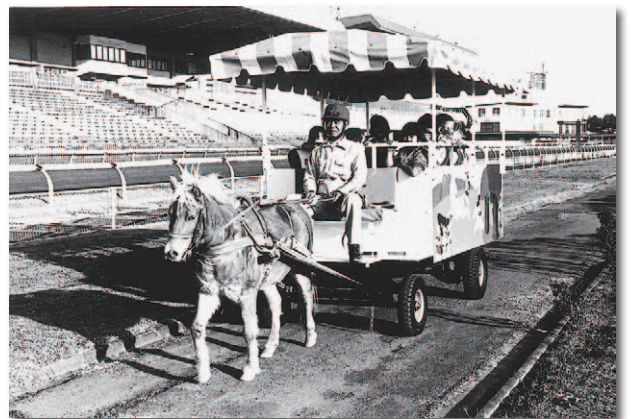


◀昭和40～50年代・当時流行していたゲートボール。

▼昭和50～60年代のヤングヤング大行進。



▲▶昭和50年代後半・競馬場の場外売場と競馬場内馬車。



▲昭和60年代・足利市駅周辺整備の様子。

▼昭和50年代後半・足利商業高校の卒業式。



1985年(昭和60年)

2月

- ・足利学校前に観光駐車場が開場した。

3月

- ・コミュニティー道路(本城一・二丁目)が完成した。
- ・東武足利市駅の北口広場が完成した。
- ・名草公民館が完成した。

◆つくば科学万博が開催された。

4月

- ・大日大門通りの石畳改修工事が完成した。
- ・県立足利中央養護学校が大月町に開校した。
- ・県立足利西高校が大前町に開校した。
- ・ボランティア活動指導者等賠償責任保険が創設された。

◆NTT、日本たばこ産業(株)が民営化でスタートした。

5月

- ・(財)足利市緑化推進協会が内閣総理大臣賞を受賞した。

6月

- ・新嘗祭献穀行事が西場町の保足氏方で行われた。
- ・月谷町に一般廃棄物最終処分場が完成した。

7月

- ・災害に備えて両毛5市の水道配水管が接続された。

9月

- ・農業研修センターに運動場広場が完成した。
- ・名草中町配水場が完成した。
- ・国際青年年を記念して、シンポジウムなどが開かれた。

10月

- ・足利薪能が始まった。
- ・坂西中に初の格技場が完成した。
- ・『足利氏の歴史展』が県立博物館で開催された。
- ・足利市婦人問題懇話会が発足した。
- ・県南流通センターに貨物自動車ターミナルが開かれた。
- ・中橋通り東沿道型土地区画整理事業を開始した。

11月

- ・山下町に地域福祉会館(隣保館)を開いた。
- ・国の『まちづくり特別対策事業』に足利生き生きタウン事業が決まった。

12月

- ・足利市第4次振興計画を策定した。

1986年(昭和61年)

1月

- ・助戸公民館本館を開館した。
- ・斎場に受付棟が完成した。

3月

- ・『婦人のための足利市総合計画』が策定された。
- ・第5分団の詰所(田中町)が完成した。

4月

- ・栃木県南地域地場産業振興センターが開館した。

5月

- ・自治大臣表彰『うるおいのあるまちづくり』受賞を記念し、東武足利市駅北口広場にブロンズ像『茉莉花』が設置された。

- ・田崎草雲宅の画室、茶室が改修された。

◆東京サミットが開催された

8月

- ・足利競馬場に無料休憩所が完成した。
- ・台風10号で道路冠水や床上浸水などの被害が出た。

10月

- ・寺岡町と佐野市を結ぶ寺並橋が開通した。
- ・ナショナルトラスト全国大会が開催された。

11月

- ・全国足利氏ゆかりの会(41団体)が設立された。
- ・足利市青年のつどい(第1回)が開催された。

1987年(昭和62年)

1月

- ・足利七福神めぐりが48年ぶりに再現された。

3月

- ・足利競馬場南に五十部堤防線が開通した。
- ・足利市と田沼町の共同負担による公営バスが、東武足利市駅～(入名草)～飛駒間で運行を開始した。
- ・助戸公民館に、旧木村織物工場の建物を利用したホール棟と織物記念館が開館した。
- ・西部ごみ焼却場が休止となった。
- ・北郷公民館が利保町に移築され、開館した。
- ・国道50号の堀込高架橋が開通した。
- ・樺崎工業団地の造成が完了した。

4月

- ・鎌倉市との姉妹都市締結5周年を記念して、特別列車『鎌倉訪問足利市民号』が運行された。

◆国鉄が分割民営化された

5月

- ・県道桐生岩舟線(伊勢町一～通三丁目)に、路上駐車方式のパーキングチケットが設置された。

7月

- ・総合運動場内の市営プールが改修された。



◀昭和60年・月谷町に一般廃棄物最終処分場が完成した。

▶昭和60年代・鑿阿寺の南側で開かれたインポートバザールの様子。



◀昭和60年代のじゃぶじゃぶ池



◀昭和61年5月・足利市駅北口女神像除幕式



▲じゃぶじゃぶ池となりのサイクルランド。

9月

・田崎草雲の90回忌法要と記念特別展が開催された。

11月

・名誉市民故新居善太郎氏の頌徳像が、織姫山山頂に建てられた。

12月

・自動血圧計が、市役所市民ホールと保健センターに設置された。

1988年(昭和63年)

3月

・小俣町と松田町を結ぶ『猪子トンネル』が開通した。

・デイ・サービスが清明苑(大月町)で開始された。

・岩井分水路に『サイクルランド』を開いた。

・足利競馬場にローラースケート場が完成した。

4月

・寝たきり老人などの介護者への激励金支給が始まった。

・中小企業で働く人を対象に北関東初の『足利市勤労者福祉共済会』が発足した。

・渡良瀬河川公園中橋緑地の多目的広場、催し物広場が一部使用開始となった。

・県消費生活センター県南支所の業務が市に移管され、トリコット会館内に消費生活センターが開所した。

・小俣上野田土地区画整理事業が開始された。

5月

・通一・三丁目に『からくり時計』が設置された。

・総合運動場の硬式野球場が改修された。

・JR足利駅の開業100年を祝い市民の集いが行われた。

・両毛5市などで組織する『両毛地域東武鉄道沿線開発推進協議会』が発足した。

・オーストラリア・ブリスベンボーイズカレッジチームが来足し、市内の高校選抜とラグビー親善試合を行った。

7月

・市に『情報化推進協議会』『大学誘致・充実促進協議会』が設置された。

9月

◆食と緑の博覧会『イトピアとちぎ'88』が開催された。

10月

・情報公開制度がスタートした。

・健康・体力づくり事業で、総務庁長官賞を受賞した。

・第10分団の詰所(駒場町)が完成した。

11月

・『福寿橋』の工事安全祈願式が行われた。

・寺岡町に富田高架橋が開通した。

・足利市社会事業協会の設立60周年記念式典が行われた。

12月

・史跡足利学校跡の建物復元工事が始まった。

1989年(昭和64年、平成元年)

1月

◆天皇崩御に伴い、年号が昭和から平成に変わった。

・通一・二丁目の『誇れる街づくり事業』(上半期分)が完成した。

・成人式が各地区ごとに開催された。

・山前小に学校食堂が完成した。

3月

・葉鹿跨線橋が開通した。

・足利尊氏ゆかりの『白糸威妻取大鎧』の複製が完成した。

・南幸楽荘に高齢者多目的スポーツ施設が完成した。

・富田公民館が完成した。

・特別養護老人ホーム麗日荘(田中町)に、デイサービスセンターが開館した。

・ニューメディアフェアが開催された。

4月

◆消費税が導入された。

・土曜閉庁(毎月第2・第4)が始まった。

・消費生活センターがトリコット会館からフェースA内に移転した。

・市民武道館の建設に着手した。

・草雲美術館開館20周年記念式典が行われた。

5月

・市制70周年記念事業実行委員会が設置された。

6月

・北関東自動車道のルートが公表され、菅田町にインターチェンジの設置が決まった。

・ふるさと創生事業として、市民公募をもとに『尊氏像・孔子像』の設置が決まった。

7月

・『足利学校・ばん阿寺参道の街なみ修景』が、国の手づくり郷土賞を受賞した。

・痴呆性老人デイ・ホームわかばが小俣町に開設した。

・迫間湿地シンポジウムが開催された。

9月

・消防緊急情報システムの運用を開始した。

10月

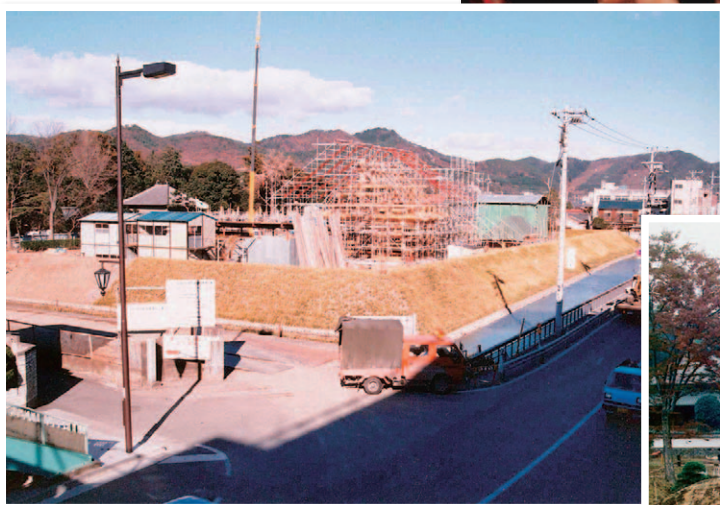
・旧木村輸出織物工場(現助戸公民館の一部)が県の有

▼平成元年・イトーヨーカ堂での火災訓練。



▲平成元年・足利さわやか健康マラソン大会

▶平成元年・足利まつりで賑わう通二丁目付近の様子。



◀▼復元中の足利学校。



形文化財に指定された。

- ・教育委員長に初の女性が就任した。
- ・樺崎八幡宮本殿(樺崎町)が修復された。

11月

- ・済寧市(中国)との友好都市締結5周年を記念し、雑技芸術団の公演や孔府料理賞味会、物産展が開催された。

◆東西ドイツの壁が取り壊された。

12月

- ・(仮称)足利ゴルフ練習場の工事安全祈願祭が行われた。

1990年(平成2年)

1月

- ・渡良瀬橋の改修工事が始まった。
- ・越床トンネルの新設など、国道293号の整備に向けて調査が始まった。

2月

- ・市制70周年記念事業のイメージマスコットに『あゆみくん』が決まった。

3月

- ・平和都市を宣言した。
- ・第12分団の詰所(島田町)が完成した。

4月

- ・市民武道館が完成した。
- ・足利公設卸売市場内に、県内初の『花き市場』がオープンした。
- ・東武足利市駅構内に足利観光案内所を開設した。

5月

- ・市制70年記念式典を行った。

6月

- ・南公民館を廃止し、矢場川公民館を開館した。
- ・市制70年を記念して、中橋と鑢阿寺楼門のライトアップを開始した。
- ・地場産センターで開催したイベント『夢広場あしかが'90』で、産業展を開催した。
- ・リフト付きタクシーの運行を開始した。

7月

- ・市制70年・水道創設60年を記念して水道モニュメント・冷水機5機を市内に設置した。
- ・渡良瀬河川公園中橋緑地が、国の『手づくり郷土賞』を受賞した。

9月

- ・NHK大河ドラマ『太平記』のオープンセットが完成し、撮影が始まった。

- ・ゆとり都市を宣言した。

10月

- ・川崎ゴルフ練習場が開場した。
- ・アメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市と姉妹都市を締結した。
- ・生涯学習奨励賞を創設した。
- ・『太平記』オープンセットの一般公開を開始した。

11月

- ・足利学校中興550年を記念して、『上杉憲実公顕彰碑』を建立した。

12月

- ・史跡足利学校の復元工事が完成、一般公開を開始した。
- ・大日東土地区画整理事業を開始した。

1991年(平成3年)

1月

- ・市民投票で足利百景を選定した(1位は足利花火大会)。
- ・山辺東部土地区画整理事業が竣工した。

◆湾岸戦争がはじまった。

2月

- ・東武鉄道が伊勢崎線に新型車両(200系)を配備した。

3月

- ・第4次足利振興計画中期基本計画を策定した。
- ・八坂第二工業団地の造成が完了した。
- ・ふるさと創生事業で尊氏公像と孔子像を設置した。
- ・第1分団の詰所(緑町一丁目)が完成した。

4月

- ・渡良瀬河川敷に足利渡良瀬ゴルフ場が完成した。

6月

- ・平成5年に開かれる全国高等学校総合体育大会の足利市準備委員会が設立された。

7月

◆歩道の段差解消など、体の不自由な方やお年寄りにやさしいまちづくりが始まった。

8月

- ・通二丁目で『中橋ハイツ』の建設工事が始まった。
- ・毛野東部工業団地の造成が完了した。

9月

- ・中学生12人を姉妹都市のアメリカ・スプリングフィールド市へ派遣した。
- ・国民健康保険の加入者で1年間医療機関にかからなかった世帯を健康優良家庭として表彰した。



▲平成2年4月・武道館が完成した。



▲平成2年5月・足利市駅構内に設置された観光案内所。



◀平成2年10月・川崎ゴルフ場オープン。

▶平成3年4月・織姫山から望む街並み。



◀平成4年4月・レンゲ畑で遊ぶ子どもたち。

10月

- ・小俣上野田土地区画整理事業が竣工した。
- ・市民公募による初の足利市民友好訪米団を派遣した。

12月

- ・太平記オープンセットの公開が終了した(入場者102万人)。

◆ソビエト連邦が解体した。

1992年(平成4年)

3月

- ・第8分団の詰所(利保町)が完成した。

4月

- ・市民課などの窓口を低いカウンターに改善した。
- ・新緑橋が完成した。
- ・65歳以上の方に『いきいきパスポート』を発行した。
- ・鎌倉市と姉妹都市締結10周年を迎えた。

6月

- ・外国人相談(スペイン語、ポルトガル語など)を開始した。

7月

- ・足利市国際交流協会が発足した。
- ・市役所の土曜閉庁が始まった。

8月

- ・両毛地区広域都市圏総合整備推進協議会が設立された。
- ・足利市ごみ問題懇談会が、ごみの減量・資源化のあり方について提言した。

10月

- ・行政町名に八幡町一丁目～三丁目、朝倉町二丁目・三丁目が誕生した。
- ・工事中の松田川ダムで定礎式が行われた。
- ・体力づくり優秀組織として、足利市が内閣総理大臣賞を受賞した。

12月

- ・足利市坂西団地水処理センターが完成した。

1993年(平成5年)

1月

- ・足利の観光拠点として『太平記館』が開館した。
- ・足利の夕景を歌った歌手・森高千里さんの『渡良瀬橋』がヒットし、全国的に有名になった。

◆EUが発足した。

2月

- ・松田町に簡易保険総合レクリエーションセンターの

設置が決定された。

3月

- ・国道50号の4車線化が完成した。
- ・中川浄水場が完成した。

4月

- ・斎場に式場棟と待合棟を増設した。
- ・三和公民館が完成した。

6月

- ・公害防止に重点をおいた東部クリーンセンターが完成した。
- ・ごみの減量化・再資源化の推進のため、廃棄物減量等推進員制度を創設した。

7月

- ・花火大会が会場を田中橋下流に移して行われた。

8月

- ・全国高等学校総合体育大会でレスリング・男子バレーボールが足利市を会場に行われた。
- ・世界の名器といわれるピアノ『ベーゼンドルファー』を市民プラザに設置した。
- ・八柵東部土地区画整理事業が開始された。

9月

- ・美術館つきの住宅『中橋ハイツ』が完成し、入居を開始した。
- ・高齢者向け公営住宅『シルバーハウジング』の建設が始まった。
- ・中学生と市長との対話『ヤングサミット』を行った。

10月

- ・消防本部に地震計を設置した。

11月

- ・毛野東部工業団地に足利金属団地が完成し、操業が始まった。
- ・史跡足利学校所蔵品の特別展示を行った。

12月

- ・納税推進都市を宣言した。
- ・第14分団の詰所(久保田町)が完成した。

1994年(平成6年)

1月

- ・市立美術館のシンボルに近代フランス彫刻界の巨匠・マイヨールの『着衣のポモナ』を設置した(市民文化財団が寄贈)。

2月

- ・足利環状線に新梶川橋が開通した。

▼NHK大河ドラマ『太平記』の撮影風景と一般公開の様子。▼



▲平成4年7月・通二丁目の七夕飾り。



◀平成5年・コンピューター授業の様子。

・山川町JR両毛線立体交差が完成した。

3月

・福寿大橋と高橋大橋が開通した。

4月

・市立美術館が開館、開館記念特別展を行った。

・田中町の雇用促進住宅の建設が始まった。

5月

・国道293号で、越床トンネルの貫通式が行われた。

7月

・北幸楽荘の建設が始まった。

8月

・125年ぶりに足利学校の庠主に中村元さんが就任した。

・『市長への手紙』を開設した。

・助戸公民館で日曜窓口サービスを開始した。

・山辺西部第一土地区画整理事業を開始した。

9月

・済寧市(中国)と友好都市締結10周年を迎え、記念植樹などが行われた。

10月

・平成6年度都市景観大賞の都市景観100選(建設大臣賞)に『足利学校、鏝阿寺周辺地区』が選定された。

・水処理センターに汚泥焼却施設が完成した。

11月

・ひとりぐらし老人のための『緊急通報システム』が始まった。

12月

・いきいきハイツ江川の入居が始まった。

・消防本部に高規格救急車を配置した。

・第18分団の詰所(松田町)が完成した。

1995年(平成7年)

1月

◆阪神・淡路大震災が起こった。

2月

・渡良瀬川横断公共下水道幹線が完成し、通水式を行った。

・小学校に空き缶圧縮機を設置した。

・緑橋右岸西部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・公共下水道が南部の一部地域に供用を開始した。

・総合運動場の整備基本計画をまとめた。

4月

・両毛広域都市圏で公共施設の相互利用を開始した。

6月

・交通安全都市を宣言した。

7月

・行政町名に借宿町一丁目が誕生した。

・15年ぶりに緑陰図書館が復活した。

9月

・やすらぎハウス(北幸楽荘)が完成した。

・保育所と児童館を併設した梁田児童センターがオープンした。

・(仮)渡良瀬ウォーターパークの整備計画をまとめた。

10月

・生活路線バスの運行を開始した。

・第10回国民文化祭・とちぎ95が開催された。

・堀里ニュータウンの宅地分譲を開始した。

・姉妹都市締結5周年を記念して『スプリングフィールド市ジャズ訪日団』が来訪した。

11月

・松田川ダムが完成した。

・全国孔子廟サミットが開催された。

12月

・第5次足利市振興計画『ニュー足利創造プラン』を策定した。

・中橋通り東沿道型土地区画整理事業が竣工した。

・第19分団(松田)の詰所(松田町)が完成した。

1996年(平成8年)

4月

・空き缶等のポイ捨て防止に関する条例を施行した。

・足利市と佐野市を結ぶ越床トンネルが開通した。

・半透明か透明のごみ袋の使用が義務付けられた。

・足利市エンゼルプラン(緊急保育対策等5カ年事業計画)をまとめた。

・市民ホールコンサートを開始した。

・小中学生を対象に、文化施設と体育施設の無料化を実施した。

・北郷小月谷分校を廃止した。

7月

・まつだ湖畔キャンプ場を開場した。

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉が湧出した。

8月

・第1回両毛地区中学生サミットを開催した。

10月

・ごみの分別方法を3種5分別から5種12分別に変更



◀平成7年・小学校空き缶圧縮機貸与式。



▲平成7年・生活路線バスと乗降客。



◀平成8年・開通した越床トンネル。

▼平成8年10月・天皇后(現上皇皇后)両陛下とベルギー国王皇太子が来足した。



▼平成8年・松田町に設置されていた温泉スタンド。



▶平成8年・現在も太平記館で行われている観光八木節の実演の様子。



した。

・天皇皇后(現上皇皇后)両陛下がベルギーのアルベール2世国王(当時)夫妻・皇太子殿下(現国王陛下)とともに訪問された。

・足利学校で曝書が行われた。

11月

・美術館南地下道が開通した。
・足利学校で初めての『楷の木コンサート』を開催した。
・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が開始された。

12月

・環境都市を宣言した。
・第6分団の詰所(五十部町)が完成した。

1997年(平成9年)

1月

・山辺中に武道館が完成した。
・あがた工業団地の造成が完了した。

2月

・八柵東部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉スタンドを設置した。

・上松田地区水道未普及地域解消事業が完了し、全市域が給水可能となった。

・シルバー人材センター活動施設が完成した。

・田中西部土地区画整理事業が竣工した。

4月

・小俣小と小俣第二小を統合した。
・足利市行政手続条例を施行した。
・織姫公園レストラン棟をリニューアルオープンした。

6月

・市長へのファクス通信が始まった。
・足利学校を会場に、漢字能力検定試験が開始された。

7月

・両毛5市災害応援協定を締結した。
・松田川ダムふれあい広場を開場した。

8月

・姉妹都市締結15周年を記念して、わたらせ・サマーフェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。

9月

・足利市公式ホームページを開設した。

10月

・住民票等自動交付機を設置した。

・西部複合施設(足利西プラザ)の建設が始まった。

・山川ふれあいセンターが完成した。

・古沢巖ヴァイオリンの夜 in 足利学校を開催した。

12月

・第15分団の詰所(福富町)が完成した。

1998年(平成10年)

1月

・足利学校を会場に百人一首大会を開催した。

2月

◆長野冬期オリンピックが開催された。

3月

・足利市都市景観形成基本計画を策定した。
・行政町名に利保二丁目・三丁目、江川町四丁目、田島町一丁目誕生した。

・毛野南部第2土地区画整理事業が竣工した。

4月

・旧小俣第二小をふるさと学習・資料館とした。

5月

・大月小に屋内運動場が完成した。
・北関東自動車道全線事業化記念中心杭打ち式が行われた。

6月

・行政町名に常見町一丁目～三丁目誕生した。

7月

・足利渡良瀬ウォーターパークをプレオープンした。

8月

・まつだ湖に噴水が完成した。

9月

・田崎草雲没後100年記念事業を行った。
・西幸楽荘と多目的スポーツ施設が完成した。

10月

・足利ケーブルテレビ(現わたらせテレビ)が開局した。
・山辺西部第二土地区画整理事業を開始した。

12月

・江川利保第二土地区画整理事業が竣工した。
・第2分団の詰所(助戸三丁目)が完成した。

1999年(平成11年)

1月

・総合窓口化に向けて、市民課窓口業務を拡大した。

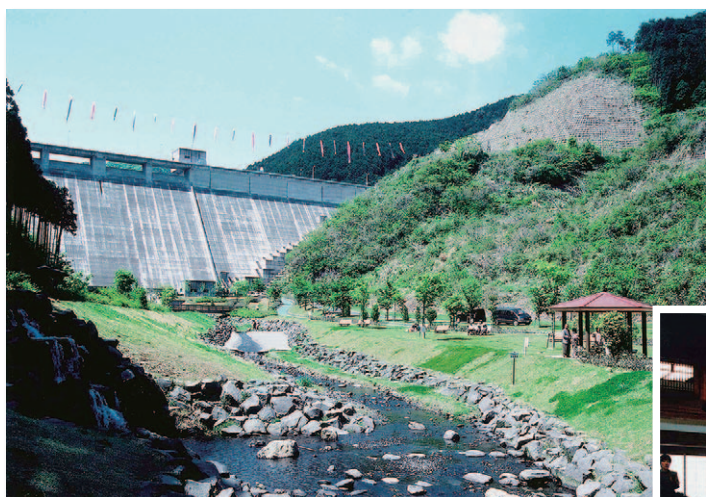
2月

・市立美術館開館5周年記念『ロダン展』を実施した。

▶平成10年7月・渡良瀬ウォーターパーク



▲平成10年1月・雪化粧の足利学校



▲平成11年撮影・松田川ダムふれあい広場



▲平成11年4月・総合運動場ウォーキングコース



▶平成11年11月・百人一首かるた

3月

- ・地域振興券を発行した。
- ・福祉都市を宣言した。
- ・足利学校応援団が設置された。
- ・中部クリーンセンターを廃止した。
- ・陸上競技場を第2種競技場として全面改修した。

4月

- ・みなみ保育所を新しく開所した。

5月

- ・草雲美術館30周年記念展を開催した。

7月

- ・小俣最終処分場が完成した。
- ・足利渡良瀬ウオーターパークを開場した。
- ・毛野中の屋内運動場が完成した。

8月

- ・旧警察署を教育庁舎として、市役所の事務室の一部を移転した。
- ・栃木県と足利市の総合防災訓練が行われた。

10月

- ・東幸楽荘の建設工事が始まった。

12月

- ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結15周年記念式典・祝賀会を開催した。

2000年(平成12年)

2月

- ・市民から募集した足利市制80周年記念キャッチコピーが『新世紀 拓く足利 夢・未来』に決定した。

3月

- ・渡良瀬グリーンプラザが完成した。
- ・高齢者福祉施策をまとめた『足利市ゴールドプラン21』を策定した。
- ・足利市環境基本計画を策定した。
- ・久野公民館を新しく開館した。
- ・第3分団の詰所(八柵町)が完成した。

4月

- ・介護保険制度がスタートした。
- ・通学区域再編成により小学校8校(柳原、東、相生、大橋、助戸、千歳、三和、松田)を廃止し、新に5校(けやき、青葉、東山、桜、坂西北)が誕生した。

◆チャイルドシートの着用が義務付けられた。

- ・スプリングフィールド市との姉妹都市締結10周年を記念して『スプリングフィールド市展』を開催した。

- ・平成13年度に実施する市制80周年記念事業(8事業)を選定した。

5月

- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結10周年を記念し、祝賀会と両市内の大学の姉妹校締結調印式を行った。

6月

- ・歴史都市を宣言した。

7月

- ・市民公募により足利市制80周年イメージマスコット『アッシーパル』が決定した。

9月

- ・東幸楽荘を開場した。

◆全国都市緑化とちぎフェアが宇都宮市と壬生町で開催された。

10月

- ・シドニー五輪で銀メダルを受賞した女子ソフトボールチームで活躍した白鷗大学足利高校出身の4選手に、足利市スポーツ特別賞を贈呈した。

2001年(平成13年)

1月

- ・史跡足利学校庠主に前田専學さんが就任した。
- ・ニュー足利創造プラン(第5次足利市振興計画)基本構想を見直し、後期基本計画を策定した。
- ・樺崎寺跡が国指定史跡となった。

2月

- ・毎週木・金曜日に窓口業務を午後7時まで延長した。
- ・第17分団の詰所(小俣町)が完成した。

3月

- ・両毛地区市町村圏事務組合が解散した。

4月

- ・河南消防署が開署した。
- ・通学区域再編成により西小を廃止した。

6月

- ・『日本最古の学校・足利学校 心の学校全国絵手紙展』を開催した。
- ・前市長 故・早川一夫氏の市葬が行われた。

10月

- ・市民大学あしかが学校を開校した。
- ・80周年記念事業として桜の植樹を行った。
- ・市民の意見を反映させる市民会議が発足、活動を開始した。



◀平成15年3月・にしこども館

▶平成15年3月・足利まちなか遊学館



◀平成15年4月・毛野小学校



▶平成15年8月・第19回全日本還暦軟式野球大会の開会式の様子。



▼平成12年10月・足利市スポーツ特別賞授賞式。



・公募議員による『市制80周年記念事業足利市女性議会』を開催した。

11月

・市制施行80周年記念式典を開催した。

2002年(平成14年)

1月

・足利市国際交流協会が総務大臣賞を受賞した。

2月

・市立美術館で『相田みつを展』を実施した。

・緑橋左岸土地区画整理事業が竣工した。

・富田中に特別教室棟が完成した。

3月

・御厨公民館が新しく完成した。

・東武足利市駅北口に『風車のモニュメント』が完成した。

・第4分団の詰所(八幡町三丁目)が完成した。

4月

・男女共同参画センターを開所した。

・社会福祉協議会と社会事業協会が合併した。

5月

・織姫相生小学校通り(北仲通り)改修工事が竣工した。

・日本女子ソフトボール1部リーグが本市で開催された。

・梁田小の屋内運動場が完成した。

・足利市シルバー人材センター設立20周年記念式典が開催された。

6月

・企業誘致1万社リストアップ作戦が始まった。

・日本一の三名所バスラッピングが完成した。

7月

・地域振興整備公団足利開発所が開設された。

・市立美術館足利ゆかりの作家支援事業制度が始まった。

・台風6号の影響で出たごみの一斉清掃を行った。

・足利市初の女性農業委員が選出された。

・生き街工房αが通二丁目に開かれた。

8月

・足利市と鎌倉市の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。

・住民基本台帳ネットワークシステムが稼働した。

・足利県立自然公園と三名所が遊歩百選に選ばれた。

10月

・個人情報保護制度を開始した。

・デザインの日記念事業が本市で開催された。

11月

・総合型地域スポーツクラブ第1号として三重スポーツクラブが設立された。

・市民活動センターが開所した。

・足利学校職員の着物での対応が始まった。

2003年(平成15年)

1月

・市の南部を走る生活路線バス『みなみ号』が運行を開始した。

2月

・ISO9001の認証を取得した。

・富田中の新校舎と特別教室棟が完成した。

・高校生デュオ『いっしょ』が足利市文化特別賞を受賞した。

3月

・春日市営住宅1号棟が完成した。

・東武足利市駅前と市役所前に河川情報表示版が設置された。

・足利市インキュベーションオフィスA-BOXの入居が始まった。

・足利市営競馬が53年の歴史に幕を閉じた。

・足利まちなか遊学館が開館した。

・小俣公民館・にしこども館の複合施設が完成した。

・新しい葉鹿橋が完成し、開通式を行った。

4月

・市立美術館に郷土作家コーナーを新設した。

5月

・小学校で音楽教室出前講座を開催した。

8月

・足利学校の参観者が300万人に突破した。

・パブリック・コメント第1号を募集した。

・全国高校生ボランティア・リーダーズ・サミット2003が開催された。

・『足利英会話教育特区』の認定を受けた。

9月

・全日本還暦軟式野球大会が開催された。

・旧東小の温水プールを一般開放した。

2004年(平成16年)

1月

・意見提案制度(パブリックコメント)を活用した初めての条例が施行された。



◀平成15年・あしかが競馬が終了した。

▶平成15年・史跡足利学校の参観者が300万人となった。



◀平成14年8月・足利市鎌倉市姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。



▶平成16年3月・太平記館がリニューアルオープンした。



◀平成16年11月・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。

2月

・安心して子育てができるように、あしかがファミリー・サポート・センターが組織された。

3月

・太平記館がリニューアルオープンした。
・葉鹿橋左岸土地区画整理事業により、新町名『葉鹿南町』ができた。
・大久保分校が130年の歴史に幕を閉じ、閉校した。

4月

・新しくなった毛野小で授業が始まった。
・英会話教育特区認定を受け、小学校のモデル校で英会話学習が始まった。

5月

・中心市街地空き店舗対策事業により、音楽・生活文化教室が開かれた。
・あしかが歴史街道ウォークが開催された。

6月

・あしかが産学官連携推進センターが設立された。
・高齢者元気アップ事業が始まった。

8月

・足利工業大学、上智大学と『生涯学習によるまちづくりに関する覚書』を締結した。

9月

・草雲美術館35周年を記念して『田崎草雲と下野の文人画』特別展が開催された。
・市立美術館開館10周年記念『足利学校展』を開催した。

10月

・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が竣工した。
・新潟県中越地震が発生し、本市から水道部の給水車と消防隊員などが救援に向かった。

11月

・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。
・市立美術館開館10周年を記念して、『鏝阿寺の宝物展』が開催された。
・観光情報などを紹介する足利市メールマガジンの配信を開始した。
・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結20周年記念式典・祝賀会を開催した。

2005年(平成17年)

2月

・大日西土地区画整理事業を開始した。

3月

・天然のミネラル分を豊富に含んだ『足利の自然水』の販売が始まった。

4月

・小学校の英会話学習が市内全校で始まった。
・中央消防署東分署が開署した。

5月

・中央土地区画整理事業を開始した。
・商工会議所が通三丁目の旧足利銀行足利支店に移転した。

7月

・とうこうコミュニティーセンターが開所した。

9月

・市立美術館で『足利銘仙の黄金時代展』を開催した。
・足利尊氏公生誕700年記念事業『足利薪能』で、尊氏公時代の芸能『田楽風流』が上演された。
・足利尊氏公生誕700年を記念し、演劇工房DON-DE Nによる歴史ドラマ『義兼』が上演された。

10月

・葉鹿保育所と板倉保育所を統合廃止し、新たににし保育所を開設した。

11月

・足利尊氏公生誕700年を記念し、足利氏ゆかりの地ウォークラリー、足利氏ゆかりの地パネルディスカッション・記念講演会、足利そば祭りなどのイベントを開催した。

2006年(平成18年)

1月

・姉妹都市締結15周年を記念して、『足利市日本料理紹介訪米団』がスプリングフィールド市を訪問した。

2月

・市街地活性化の拠点として、足利商工会議所の友愛会館が開館した。
・戸籍事務の電算化を開始した。

3月

・第5次行政改革大綱を作成した。
・足利尊氏公生誕700年記念事業として臨済宗相国寺派・江上泰山さんの特別講演会を開催した。
・西久保田工業団地の造成が完了した。

・足利インター・ビジネスパークの造成が完了した。

4月

・第6次足利市総合計画『あしかが輝きプラン』を策定した。



◀平成17年5月・通三丁目に移転した足利商工会議所。

▼平成17年4月・山辺公民館ホール棟が完成した。



▼平成17年4月・山前公民館が移転・完成した。



▲平成17年4月・にし保育所が完成した。



▲平成18年4月・北の郷農産物直売所がオープンした。

▼平成17年11月・第1回足利そば祭りを開催した。



◀▼平成18年7月・トマトフェスティバルを開催した。



- ・指定管理者による市有施設の運営が始まった。
- ・Eメールでの消防防災情報の提供サービスを始めた。
- ・火災・救急・救助などに迅速に対応する『高機能消防指令センター』の運用が始まった。
- ・新たな介護予防サービスを提供する『地域包括支援センター』を開設した。
- ・樺崎町に『北の郷農産物直売所』が開かれた。

5月

- ・体験型観光施設として『藏風土』が開館した。
- ・いちごの収穫体験ができる『いちごフェスティバル』を開催した。
- ・2000本安打を達成した足利工業高校出身の石井琢朗さん(当時横浜ベイスターズ)に『足利市スポーツ特別賞』を贈った。

6月

- ・旧相生小を改修し、生涯学習センターを開設した。

7月

- ・トマトの収穫体験ができる『トマトフェスティバル』を開催した。
- ・藤本観音山古墳が国指定史跡となった。

8月

- ・本市で全日本クラブ野球選手権が開催され、創部50周年を迎えた全足利クラブが出場した。

10月

- ・『五代目堀込源太会』が18年度民謡民舞全国大会で初出場・初優勝を飾った。

2007年(平成19年)

1月

- ・七丁目交番が通四丁目に移転し『織姫交番』となった。
- ・『大阪国際女子マラソン』で、山辺中出身の原裕美子さん(当時京セラ)が2時間23分48秒で優勝した。

2月

- ・足利産トマトといちごの需要拡大を図るため、東京都卸売市場葛西市場でトップセールスを行った。

3月

- ・地産地消の推進をめざし『第1回農林業まつり』を開催した。
- ・差し押さえ品のインターネット公売を開始した。
- ・『災害対応特殊屈折はしご車』を導入した。
- ・第7分団の詰所(山下町)が完成した。

4月

- ・足利商業高校と足利西高校が統合して、県立足利清

風高校が開校した。

- ・副市長制が導入され、助役・収入役が廃止された。
- ・小児夜間救急診療が足利赤十字病院内で開始された。
- ・市内全小・中学校で、論語の素読を授業に取り入れた。
- ・『渡良瀬橋』の歌碑が建立された。
- ・鎌倉市と姉妹都市締結25周年を迎えた。

5月

- ・市内観光スポットを巡る2種類の無料回遊バス『ひよこバス』『ぐるワンバス』が運行された。

8月

- ・市職員全員による市税の訪問徴収を開始した。
- ・足利市公設地方卸売市場開設30周年記念式典を開催した。

9月

- ・世界遺産登録の暫定リスト入りを目指し、『足利学校と足利氏の遺産』を文化庁に申請した。
- ・遊休農地の有効活用などを図るため『市民農園』を開設した。

10月

- ・『全国足利氏ゆかりの会』の陳情などにより京都時代祭に初めて『室町時代列』が登場した。

11月

- ・30回目を迎えた『足利尊氏公マラソン大会』が開催された。
- ・『釋奠』が、市から史跡足利学校釋奠保存委員会に移管され行われた。

12月

- ・大月町のサンヨー電機工場跡地に『あしかがハーヴェストプレイス』がオープンした(平成26年6月から『アシコタウンあしかが』)。

2008年(平成20年)

2月

- ・県道飛駒・足利線『名草下バイパス』が開通した。
- ・県道松田・葉鹿線『板倉バイパス』が全線開通した。

4月

- ・燃やせるごみの減量化に向けごみ袋の有料指定袋制を導入した。
- ・廃食用油から作られるバイオディーゼル燃料で走る給食配送車を1台導入した。

5月

- ・『足利・名草ふるさと自然塾運営協議会』が正式に発足し、各種事業を展開した。



◀平成19年の足利インタービジネスパーク。

▼渡良瀬橋歌碑。



▲平成19年3月・第1回農林業まつりの様子。

▼平成20年8月・白鷺大足利高校が甲子園に出場した。



▼平成20年7月・松田川ダムのエコアート。



・国史跡樺崎寺跡の保存整備第1期工事が完了し、3つの建物の基壇遺構を整備した。

・足利市地域福祉計画を策定した。

6月

・本市から流出した運慶作『木像大日如来坐像』が東京国立博物館で一般公開された。

7月

・ドイツ人アーティストのクラウス・ダオヴェン氏による松田川ダムの巨大なエコアートが完成した。

8月

・ふるさと足利応援寄付金がスタートした。

・白鷗大足利高校が甲子園に出場した。(足利工業高校以来21年ぶり)

・北京五輪に白鷗大足利高校出身の染谷美佳さん(ソフトボール・金メダル)と協和中出身の杉町マハウさん(400mハードル・ブラジル代表)が出場した。

10月

・国道293号線拡幅に伴い、児童養護施設『泗水学園』が移転した。

2009年(平成21年)

5月

・栗田美術館とあしかがフラワーパークの連絡を向上させる『市道大久保町87号線(迫間地下道)』が開通した。

6月

・足利学校の参観者が400万人を突破した。

・『足利事件』で釈放された菅谷利和さんが市役所を訪問した。

・新足利赤十字病院の建設工事が始まった。

7月

・国指定重要文化財の鑊阿寺本堂の75年ぶりの大修理が行われた。

8月

・『全国小学生ABCバトミントン大会』(小学3・4年生の部)で青葉小4年生の高橋明日香さんが優勝した。

9月

・世界的オカリナ奏者・宗次郎さんによる『癒しの鑊阿寺コンサート』が開催された。

10月

・市役所窓口を平日夜7時まで延長した。

・市の事業について必要性があるかどうかなどを公開の場で議論する『事業仕分け』を実施した。

・『第22回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレ

クみやざき2009)』(ゲートボール)で足利新和会が初優勝した。

・『世界ジュニア柔道選手権』(フランス・パリ)44キロ級で白鷗大足利高校の蓬田智佳さんが優勝した。

・友好都市締結25周年を記念して『日中友好足利市民訪中団』が濟寧市へ訪問し、記念式典に参加した。

11月

・足利尊氏公マラソン大会に原裕美子さんが参加した。

・地元企業・学校などが参加した足利5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)学校が出発式が開催された。

・皇居外苑で行われた『天皇陛下即位二十年をお祝いする国民歳典』に足利八木節連合会が栃木県代表として参加した。

12月

・渡良瀬河川敷でバルーン・フェスタが開催された。

2010年(平成22年)

1月

・市役所庁舎内および市有施設などの飲料自動販売機設置の入札を実施した。

2月

・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。

3月

・足利学校で初めて『全国論語素読の集い』を開催し、『論語のまち・足利』を全国に発信した。

・ごみ収集運搬業者の選定に一般競争入札を導入した。

4月

・指定ごみ袋を値下げした。

・足利市観光大使に落語家・三遊亭歌橘さん、タレント・勝俣州和さんを任命した。

・市内の繊維メーカー『セイホウ』の製造した靴下が、宇宙飛行士・山崎直子さんとともに宇宙に行った。

・こども医療費の助成対象を中学3年生まで拡大した。

5月

・築150年と言われる市内の民家を移築・復元した『名草ふるさと交流館』が開館した。

6月

・市役所庁舎内を全面禁煙にした。

7月

・記録的猛暑が続いたため、市有施設で『打ち水大作戦』を実施した。

・市イメージキャラクター『たかうじ君』が誕生した。



◀平成22年2月・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。



▶平成22年5月・おいわアスレチックフェスの様子。



▲平成22年5月・浅間山からの展望。日本赤十字病院の建設中の様子がうかがえる。



▲平成23年4月・上空から撮影したまちなみ。



▲平成22年9月・史跡足利学校の曝書。

▼平成23年9月・草雲美術館とヒガンバナ。



◀平成22年11月・もみじ谷。

▼平成22年11月・栗田美術館で開かれた足利グルメグランプリ。



8月

- ・萌えキャラ『足利ひめたま』が誕生した。
- ・市公式ツイッターの運用を開始した。
- ・市内の豊富なハイキングコースを紹介した『足利市ハイキングマップ』を作成・配布した。

9月

- ・市内でロケが行われた映画『君に届け』が一斉公開された。
- ・小学6年生の女子児童に、子宮頸がん予防接種費全額補助を開始した。

10月

- ・パスポート(旅券)の申請窓口が市役所に開設された。
- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。

11月

- ・足利秋まつりで『足利グルメグランプリ』を開催した。

2011年(平成23年)

1月

- ・市制施行90周年を迎えた。
- ・『第6次足利市行政改革大綱実施計画』を策定した。

3月

◆11日、東日本大震災が発生した。

- ・北関東開通フェスタが震災の影響で中止となった。
- ・北関東自動車道足利インターが開通し、これにより全線開通となった。
- ・福島県からの震災避難民を名草セミナーハウスと北幸楽荘へ受け入れた(約130名)。

4月

- ・第一中、愛宕台中、富田中を小規模特認校とし、土曜日授業を開始した。
- ・『広報あしかがみ』を月1回の発行に変更した。
- ・市制90周年を機に、これまでの愛唱歌『われらのまちに』を市歌に変更した。
- ・水道給水開始80周年を迎えた。
- ・足利市観光大使に本市出身のタレント・手島優さんを委嘱した。
- ・市制90周年記念事業として『足利文芸賞』を募集した。

5月

◆北海道泊原発3号機が運転を停止し、国内の原発50基がすべて運転を停止した。

- ・世界的バイオリニストの五嶋みどりさんが南小で演奏会を開催し、演奏指導も行った。

- ・名草ふるさと交流館を拠点に『里山フェスタ』、『里山ウオーク』が開催された。

- ・市歌継承式及び5Sキックオフを開催した。

- ・震災の影響で延期となっていた『第2回全国論語素読の集い』が足利学校で開催された。

7月

- ・新足利赤十字病院が開院した。これに伴い足利市休日夜間急患診療所・足利市薬局施設が併設された。

- ・コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)内に行政サービスセンターを開所した。

- ・生活路線バスの実証運行を開始した。

8月

- ・市議会議場で青少年議会(高校生議会)が開催された。
- ・NHK巡回ラジオ体操大会が陸上競技場で開催された。
- ・第27回全国小学生陸上交流大会男子400メートルリレーで栃木県代表の足利陸上教室チームが優勝し日本一に輝いた。

10月

- ・生涯学習センターに放送大学栃木学習センター足利学舎が開設された。

- ・NHKのど自慢足利大会が市民会館大ホールで開催された。

- ・市制90周年記念足利市生涯学習振興大会・論語に親しむ会が開催された。

11月

- ・第3回『全国論語素読の集い』が開催された。

- ・市制90周年記念式典を開催し、これに併せて『足利文芸賞』の受賞者を発表した。

12月

- ・国際ソロプチミストと足利ベンチャークラブの寄付による旧足利市歌を刻んだ歌碑が市役所前に設置された。

- ・大分県日田市長が孔子廟を視察した。

- ・足利学校の参観者を8年後の2019年度までに倍増する『足利学校参観者倍増計画』を策定した。

2012年(平成24年)

1月

- ・市立美術館で『没後20年 足利が生んだ心の詩人 相田みつを特別展』を開催した。

2月

- ・足利学校が、一般社団法人世界孔子協会から『孔子教育賞』を受賞した。



◀▼平成23年・新足利赤十字病院



▶平成23年・北関東自動車道足利インターチェンジ付近の上空からの様子。



▼平成23年8月・ラジオ体操



▼平成23年10月・のど自慢大会



▲平成23年4月・織姫公園の藤

3月

- ・論語の普及と『論語のまち足利』を全国に発信するため、『足利学校・全国論語研究会』を設立した。
- ・第9分団の詰所(名草中町)が完成した。

4月

- ・鎌倉市と姉妹都市締結30周年を迎えた。
- ・足利学校に市外の方を案内すると参観料を割引く『足利学校市民総コンシェルジュ運動』を開始した。
- ・電力需給問題に対する地方からの取り組みとして、『創電』『節電』『蓄電』からなる『足利市民総発電所構想』を開始した。

5月

- ・道の駅候補地を瑞穂野町地内に選定した。
- ・日本で25年ぶりの金環日食を市内でも観測した。
- ・東京スカイツリーが開業した。併設する商業施設・東京ソラマチに栃木県アンテナ店『とちまるショップ』がオープンし、足利市の名産品も店頭に並んだ。
- ・中橋北交差点に大型土のうを積むなど、渡良瀬川溢水を想定した初の実践的な訓練を実施した。

6月

- ・フィンランド駐日大使が足利学校、鏝阿寺を視察した。
- ・旧競馬場跡地の芝生植え付け作業をボランティアで実施、2日間で1千人が参加した。

7月

- ・市条例により工業団地などの緑地面積率を大幅に緩和し、新たな工業用地を創出した。
- ・セブンイレブンで住民票などの証明書発行サービスを開始した。
- ・『足利市民総発電所構想』の一環として、太陽光発電事業者への市有施設の屋根貸し事業の公募を開始した。
- ・県道足利館林線野田バイパスが開通した。
- ・ロンドン五輪開幕。足利工業高校出身の齋川哲克さんがレスリング・グレコローマンスタイル96キログ級に出場した。
- ・市内初のパークゴルフ場が渡良瀬川河川敷借宿緑地(中川町)にオープンした。

8月

- ・友好都市を締結している済寧市(中国)の小学生45人が市内に滞在。市内の小学生と交流を深めた。
- ・姉妹都市締結30周年を記念して、わたらせ・サマー・フェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。
- ・第1回論語検定(論語吟味)を開催した。
- ・足利市経済活性化諮問会議が経済活性化に向けて

230項目を提言した。

9月

- ・陸前高田市の小学生の修学旅行を受け入れ、農業体験や論語の素読体験などを実施した。

10月

- ・栃木県立博物館で特別企画展『足利尊氏—その生涯とゆかりの名宝—』を開催した。また、市内でも関連行事を実施した。
- ・民間の観光に携わる方たちで構成する『足利観光誘客戦略会議』が提言書を提出した。
- ・足利おおいわいこいの広場(旧足利サンフィールド)が閉場した。

11月

- ・第1回世界5Sサミットが開催された。
- ・第35回『足利尊氏公マラソン大会』に過去最多の5,439人が参加し、健脚を競った。
- ・市教委が市内中学校の制服の統一化を校長会やPTA連合会に提案した。

12月

- ・情報技術(IT)を活用した環境配慮型都市『スマートシティ』の実現を目指して、総合特区申請を目指す地域協議会を設立した。
- ・緑町の八雲神社が火災により全焼した。
- ・栃木県安足土木事務所がイノシシ除けの実験のためにヒガンバナを板倉町内の松田川堤防に植栽した。
- ・京都市で開催された全国高校駅伝競走大会で白鷗大学足利高校が歴代最高の6位に入賞した。
- ・本市選出の茂木敏充代議士が第二次安倍内閣の経済産業大臣として3度目の入閣を果たした。

2013年(平成25年)

1月

- ・足利学校で元旦論語素読会を開催した。
- ・両毛7市が連携し東京スカイツリーを見学する臨時列車を運行し、東武足利市駅で出発式を行った。

3月

- ・中学校の制服見直し問題で市教委が変更時期は各校の判断に任せることを表明した。
- ・太平記館がリニューアルオープンした。
- ・『渡良瀬橋』で知られる歌手の森高千里さんが一日市長を務め、市内の観光名所を訪問した他、市民会館で2日間コンサートをを行った。
- ・梁田小の新校舎が完成した。

▼平成24年8月・済寧市の小学生が来足した
ときの様子。



▼平成24年11月・5Sサミット。



◀▼平成25年9月・防災訓練の様子。



▼▶平成25年8月鑿阿寺本堂が国宝に指定され、それを記念してシンポジウムやラテン&ジャズコンサートを開催した。



4月

- ・旧西小の校舎を改修した『さいこうふれあいセンター』を開所した。
- ・東武足利市駅構内に観光交流館(愛称：あし・ナビ)がオープンした。
- ・松田保育所をにし保育所に統合した。
- ・市民会館専属のプロフェッショナル芸術団体(ミュージカル、室内オーケストラ、オペラ)が発足した。
- ・秋篠宮妃紀子さまが市立美術館にお成りになり、開催中の企画展を鑑賞された。

6月

- ・競馬場跡地芝生広場で、6カ国30チームの子どもたちがサッカーで交流を深める『ぼくらのワールドカップ in 足利』が開催された。

7月

- ・競馬場跡地芝生広場が供用を開始した。日除け施設には、霧(ミスト)を噴出して暑さを和らげる装置や、太陽光発電装置(メガソーラー)が設置された。
- ・全国的な猛暑日が続いた。(足利市のこの夏の最高気温は38.6℃)

8月

- ・鏝阿寺本堂が国宝に指定され、これを記念してシンポジウム、ラテン&ジャズコンサートを開催した。

9月

- ・防災の日に合わせて、県と市が合同で実践的な総合防災訓練を実施した。

10月

- ・市立美術館で足利学校の所蔵する国宝『文選』を特別展示した。
- ・海外からも講師を招き、『世界遺産登録推進国際シンポジウム』を開催した。
- ・鏝阿寺本堂の国宝指定を受け募集したキャッチコピーが『あなたも歴史の旅人に 国宝鏝阿寺』に決定した。
- ・大型で強い台風26号の影響で、降り始めから24時間の雨量が、市内の宇都宮气象台 足利観測所で180ミリを記録した。
- ・第66回秋季関東地区高校野球大会で白鷗大足利高校が初優勝した。栃木県勢による関東大会制覇は12年ぶり。

11月

- ・鏝阿寺本堂国宝指定記念観光情報誌『るるぶ特別編集 足利』を発行した。
- ・アジア最大規模の撮影スタジオ誘致を核とする『映

像のまち』構想を発表した。

12月

- ・市内の空き店舗や倉庫などを活用し子ども向け屋内遊戯施設を誘致することを発表した。
- ・あしかがフラワーパークの夜景が『第1回全国イルミネーションアワードイルミネーション部門』で第2位に選ばれた。
- ・足利銀行の持ち株会社足利ホールディングスが10年ぶりに東証1部に上場した。

2014年(平成26年)

1月

- ・文化財防火デーに合わせ、国宝となった鏝阿寺本堂で初の放水訓練を実施した。
- ・白鷗大学足利高校が春の選抜高校野球大会に初出場することが決定した。

2月

- ・2週連続で記録的な大雪に見舞われ、市内の農作物やビニールハウスなどの農業施設約100棟に被害が発生し、被害総額は1億円を超えた。

3月

- ・東日本大震災から3年を迎えた11日、大型台風の直撃を想定した災害対策本部のシミュレーション訓練を市役所で実施した。
- ・市内に建設された巨大オープンセットで映画『バンクーバーの朝日』が撮影された。
- ・食物アレルギーの子どもに代替食を提供する専門調理室を設けた、新しい学校給食共同調理場が今福町に完成した。

- ・原案を市内の学校から募り、市内の小中高生が足利の街を舞台に演じた、まち映画『神様、仏様、オヤジ様』が完成し、市民プラザで上映会を開催した。
- ・移転した中央消防署西分署が完成した。

4月

- ・久野保育所を梁田保育所に統合した。
- ・福居保育所を民営化した。
- ・東日本大震災の電力不足への配慮から中止していた中橋のイルミネーションが3年ぶりに再開した。
- ・新しい学校給食共同調理場が稼働を始めた。
- ・足利市立美術館の開館20周年を記念し、特別展『相田みつを 入江泰吉一書と写真の世界』を開催した。
- ・小俣地区の山林火災で40世帯に避難勧告を出した。足利の山林72ヘクタールが焼失した。



◀▼平成26年3月・今福町に完成した学校給食共同調理場。



▼▶平成26年・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。



◀▼▶平成26年・北仲通りの七夕飾りと100回を迎えた花火大会。



・新産業団地の候補地を県駅南側に選定した。

5月

・道路を日常的に利用する企業や業界団体と、市道の危険箇所の情報提供協力に関する協定を結んだ。

・史跡足利学校が社団法人世界孔子協会から『孔子伝播賞』を受賞した。

6月

・記録的大雨で県道の山川アンダーパスが冠水した。

・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。

7月

・足利織姫神社が『恋人の聖地』に選ばれ、『日本夜景遺産』に認定された。

・観光大使制度を見直し、より幅広い分野で活躍している個人・団体を委嘱する『あしかが輝き大使』制度を創設した。

・本市出身の歌手・真氣さんと、地元の社会人硬式野球クラブチーム・全足利クラブを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

・歌舞伎俳優の市川猿之助さん、市川笑也さんをお招きし『足利歌舞伎』を公演した。

・花火大会前夜祭で北仲通りが歩行者天国となり、七夕飾りと夜店で賑わった。

8月

・足利花火大会が100回目を迎え、2万発の花火が45万人の観客を魅了した。

・日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先を選ぶ2014年度の『日本留学アワーズ』で、足利工業大学が東日本理工系大学部門で初の大賞を受賞した。

・市内全小学校普通教室にエアコンを設置した。

9月

・本城三丁目の行基平山頂古墳で、県内でも珍しい人物埴輪などが複数出土した。

・市内小・中学生による『こども釋奠』を初開催した。

10月

・生活路線バス『あしバスアッシー』の運行を開始した。

・ねんりんピック栃木ソフトボール交流大会を開催した。全国各地から参加した約1千名の選手を、市民一丸となってもてなした。

・3年ぶりに鏝阿寺境内で足利薪能を開催した。

・鏝阿寺境内で『声明コンサート』を開催した。

11月

・プロ野球千葉ロッテマリーンズ(当時)の岡田幸文さ

ん、エコノミストの永濱利廣さん、ケーナ奏者のRenさんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

・松江市の中村元記念館と史跡足利学校が交流協定を締結した(故中村元さんは復原後の足利学校初代座主)。

・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結30周年記念式典・祝賀会を開催した。

12月

・屋内子ども遊び場『キッズピアあしかが』がオープンした。

2015年(平成27年)

1月

・2014年の人口動態で23年ぶりの転入超過となった。

2月

・節分鎧年越が大正4年創始以来100周年を迎えた。

・戦後70年、百頭空襲の慰霊祭が30年ぶりに行われた。

・足利商工会議所が中心となって、足利、栃木、桐生、伊勢崎の着物文化を生かした観光連携のあり方を探る『足利道楽シンポジウム』を開催した。

・足利の食と芸術・音楽、伝統芸などを融合させたイベント『足利風土祭』が初開催された。

・2012年の火災で全焼した緑町の八雲神社が、伊勢神宮内の社の古材を譲り受け再建することを発表した。

・教育に関する施設の世界遺産登録を目指す足利市、茨城県水戸市、大分県日田市の協議会に、岡山県備前市が加わることが決定した。

4月

・史跡足利学校が復元以来、参観者500万人を達成した。

・史跡足利学校が『近世日本の教育遺産群』として茨城県水戸市、大分県日田市、岡山県備前市とともに『日本遺産』に認定された。

・たかうじ君テーマソングCD『ちはっ!たかうじ君』を発売。歌に合わせて行う『たかうじ君体操』も完成した。

5月

・北仲通りで『第1回ワインウォーク』が開催された。

6月

・藤田 正さんが八木節宗家六代目堀込源太を襲名した。

7月

・ハンドボール女子日本代表『おりひめジャパン』が足利織姫神社で必勝を祈願した。

・歌手の森高千里さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。また、JR足利駅と東武足利市駅の発着メロディが『渡良瀬橋』となった。

▼▶平成26年10月・ねりんピック栃木
ソフトボール交流大会の様子。



▶平成26年12月・キッズピアオープン初日の様子。



▼平成27年2月・100周年を迎えた鎧年越



▶平成27年10月・市立美術館で開催した
田崎草雲生誕200年記念企画展。



▼平成27年7月・両駅で流れるメロディが森高千里さんの『渡良瀬橋』になった。▼



・『恋人の聖地』足利織姫神社に『愛の鐘』が完成した。

8月

・映像関係者で組織する『第1回足利銀幕会議』を開催した。

・大相撲足利場所を開催した(市内での巡業は約20年ぶり)。

・本市出身陸上選手・菅井洋平さんが世界陸上北京大会に走り幅跳びで日本代表として出場した。

・公立全中学校普通教室にエアコンの設置が完了した。

9月

・歌手の加藤登紀子さんが鑿阿寺境内でコンサートをを行い、1千人を超える観客を魅了した。

・構想実現に向けて語り合う『映像のまちフォーラム』を初開催した。

・足利工業大学と市が、中心市街地の活性化を目指した包括連携協定を結んだ。

10月

・全国の貴重な土木構造物を顕彰している公益社団法人土木学会が、市内の近代水道施設群を『推奨土木遺産』に認定した。

・市立美術館で画家・田崎草雲生誕200年記念企画展を開催した。

・スプリングフィールド市(米国)と姉妹都市締結25周年を迎え、両市長が改めて姉妹都市提携を宣言する協定書に調印した。

11月

・足利の織物産業を支えた足利工業高校創立120周年を記念し、同校所蔵の貴重な織物資料を収蔵・展示する足利工業高校資料館が開館した。

・史跡足利学校復元25周年記念特別講演会、日本遺産サミットを開催した。

・大日東土地区画整理事業が竣工した。

・山下町の新藤氏庭園が国の登録記念物に指定された。

・足利織物伝承館がリニューアルオープンした。

12月

・市が浅草の商業施設『まるごとにつぼん』に出展した。

2016年(平成28年)

2月

・足利の食や芸術文化をアピールする冬のイベント『足利冬物語』がスタートし、足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。

・国内外で活躍するパティシエ・江森宏之さんを『あ

しかが輝き大使』に委嘱した。

3月

・大月町の商業施設・アシコタウンあしかが内に映画館『ユナイテッド・シネマ』が開館した。

・行政、地域住民、団体、民間事業所が連携して高齢者の見守りを行う協定を結んだ。

・キッズピアあしかがに『子ども映像メディアアートブース』が新設された。

・東武伊勢崎線の福居駅に新駅舎が完成した。

4月

・県立足利図書館が市に移管され、足利市立図書館として開館した。

・日本とイタリアの国交樹立150周年を記念し、ローマ市内の日本文化会館で足利銘仙を紹介する企画展を開催した。

・健康で幸せな生活ができる『健幸(けんこう)』をキーワードとした事業『スマートウェルネスあしかが』がスタートした。

5月

・広報『あしかがみ』が1500号を発行した。

7月

・選挙権年齢が18歳以上になって初めての選挙が行われ、市内でも高校生が投票に訪れた。

8月

・マンホールカードに足利市が県内で初参加し、好評を博した。

・リオ五輪が開幕し、協和中出身の杉町マハウさんが男子400mハードルにブラジル代表として出場した。

・JR東日本と市が連携協定を締結。JR東日本では3例目で、まちづくりや観光客の回遊性向上などで連携を図ることとなった。

10月

・足利学校が所蔵する4種の国宝書籍を一堂に公開する『足利 学校国宝展』を初開催した。

・夜景鑑賞士が選んだ2016『第4回イルミネーションアワード』で、あしかがフラワーパークが全国1位に選ばれた。

・北仲通りにある銭湯で撮影を行った『湯を沸かすほどの熱い愛』など、市内で撮影された映画の公開が相次いだ。

11月

・足利まちなか遊学館がリニューアルオープンし、銘仙を中心とした着物などの着付け体験を開始した。



▼平成28年2月・足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。



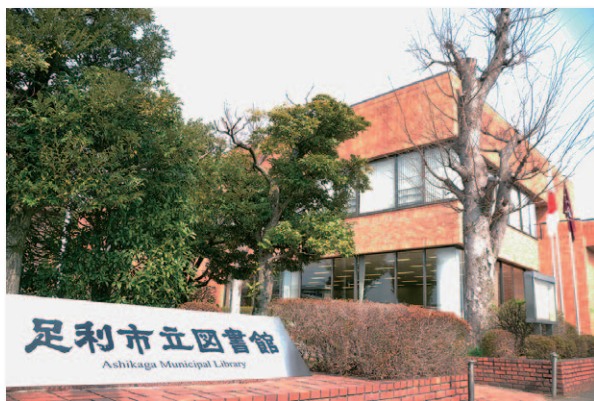
▼平成29年3月・山姥切国広展の様子。



◀▼平成27年12月・まるごとにつぼんに出展したときの様子。



▲平成28年12月・足利市のご当地ナンバープレート



▲平成28年4月・市立図書館が開館した。

▼平成29年1月・『足利歩き愛(め)です』のために鑢阿寺に集まった参加者。



・世界的なヴァイオリン奏者の古澤 巖さん、DJで音楽プロデューサーの須永辰緒さん、ご当地アイドルの渡良瀬橋43、歌手の堀優衣さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

12月

・足利市のご当地ナンバープレートが決定した。

2017年(平成29年)

1月

・『素通り禁止！足利』プロジェクトが始動した。
・七福神を巡るウォーキングイベント『足利歩き愛(め)です』に約1,500人が参加した。

2月

・足利織姫神社から望む月が『日本百名月』に認定された。

3月

・『山姥切国広展』を開催し、市立美術館は過去最多の来館者(37,820人)を記録し、商店街も刀剣にちなんだメニューなどでもてなし、まちなかはファンで溢れ返った。

・ロードバイクレース『ツール・ド・とちぎ』が開催され、足利市が初日のゴールになった。

・第16分団の詰所(葉鹿町)が完成した。

4月

・遷宮80年を記念して足利織姫神社の社殿が20年ぶりに鮮やかな朱色に塗り直された。

・鎌倉市と姉妹都市締結35周年を迎えた。

6月

・足利市初となる『地域おこし協力隊』が着任した。

・地球温暖化対策に関する『クールチョイス宣言』を行った。

7月

・『葉鹿祇園祭』で市指定文化財である葉鹿仲町の屋台が2年間の修復を終え、60年ぶりに巡行した。

・新農業委員会制度(委員の公選制を任命制に見直し等)に基づく第23期農業委員会がスタートした。

8月

・足利市が県内で初めて『文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)』を受賞した。

9月

・カスリーン台風による水害から70年を迎え、防災講演会などが行われた。

10月

・『夜景サミット』が開催され、あしかがフラワーパークが『日本三大イルミネーション』に認定された。

・足利市の魅力を市内外へ発信する『足利ミス織姫』が10年ぶりに誕生した。

・『足利市女性の職業生活における活躍の推進に関する計画』を策定した。

11月

・足利高校、足利女子高校の統合が決定された。

・松田川ダムふれあい広場で『星空とダムの映画館』を初開催し、200人超の観客が映画を楽しんだ。

12月

・6月に足利市と足利工業大学が覚書を取り交わした人工芝サッカー場の建設が着工された。

・伊勢神宮の社殿の一つを移築し、緑町の八雲神社が再建された。

2018年(平成30年)

1月

・公設地方卸売市場が民営化され『足利丸足地方卸売市場』がスタートした。

2月

◆冬季オリンピック・パラリンピック平昌大会でフィギュアスケート・羽生結弦さんが連覇を達成した。

・都市計画マスタープランを10年ぶりに見直した。

・観光都市を宣言した。

3月

・おしゃれな家具、雑貨などが並ぶ『門前マルシェ』を初開催した。

4月

・JR両毛線新駅『あしかがフラワーパーク駅』が開業した。

・足利赤十字病院跡地に足利大学本城キャンパスが開設された。

・栃木デスティネーションキャンペーンがスタートし、6月までの期間中に180万人の観光客が訪れた。

5月

・栃木デスティネーションキャンペーンの一環でJR両毛線にSLが走った。

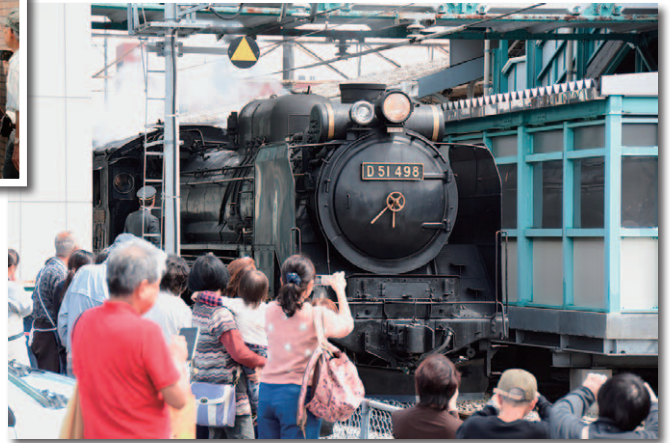
・『あしかがアートクロス』を開催し、19の会場で芸術作品の展示会を実施した。

・草雲美術館で刀剣展『草雲と刀工たち』を開催し、草雲が愛でた刀『冬廣』など、ゆかりの刀を草雲作品と共に展示した。



◀平成29年7月・60年ぶりに巡行した葉鹿仲町
祇園祭の屋台。

▼平成30年4月・栃木DESTINATIONキャ
ンペーンに向け、SLが試験走行したときの様子。



▼平成29年9月・カスリーン台風慰霊祭



▼平成30年4月・あしかがフラワーパーク駅開業式典。



▲平成30年3月・門前マルシェ。

▼平成30年6月・人工芝の西部多目的運動場
『あしスタ』が開場した。

▼平成29年12月・再建された緑町の八雲神社。



6月

- ・人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』が開場した。
- ・空き家空き地バンクを開設した。

◆サッカー・ワールドカップロシア大会が開催され、日本はベスト8を逃すも、試合内容は高い評価を得た。

- ・姉妹都市のスプリングフィールド市長が足利市を訪問し、市議会本会議場で本市以外の市長として初めてスピーチを行った。

7月

- ・プロモーション動画『ありのままの足利を。』を公開した。
- ・市内で11日連続猛暑日を記録した。

10月

- ・足利灯り物語『夜の足利☆ナイトウォーク』を開催した。
- ・史跡足利学校で企画展『元号』を開催し、期間中に3万2,000人を超える入場者があった。
- ・『足利学び舎観光ロゲイニング』を初開催した。
- ・あしかが映像まつり『聖地！西高学園祭』を開催し、3,200人が来場した。

11月

- ・わたらせテレビが開局20周年を迎えた。
- ・史跡足利学校 大成殿の改修工事が始まった。
- ・白旗橋の架け替え工事が完了した。

12月

- ・市議会のインターネット中継が始まった。
- ・「ひと」と「ひと」が輝くまちを宣言した。

2019年(平成31年、令和元年)

1月

- ・市が大型公共施設更新に向けた財政指針を公表した。

2月

- ・あしかが映像まつり『まちなかシネマDAYS』が開催され、3日間で延べ約1,250人が来場した。
- ・商工会議所友愛会館で刀剣展『堀川國廣とその高弟』が開催された。
- ・『あしかが輝き大使』に中華料理シェフ・藪崎友宏さんを委嘱した。
- ・NHKホールで行われた『第19回地域伝統芸能まつり』に八木節が出演した。

3月

- ・小俣最終処分場の訴訟が和解した。
- ・新医師会館が建設され、同建物に保健センターが移転した。

5月

◆改元し『令和』となった。

- ・改元日の5月1日の婚姻届提出が50件を超えた。
- ・40年ぶりに国・県・市合同で利根川水系連合・総合水防演習が実施された。

- ・旧足利西高校で撮影した作品が100作を超えた。

6月

- ・足利夏まつり(足利織姫神社ナイトウェディング・七夕まつり)が『第一回恋人の聖地地域活性化大賞 審査員特別賞』を受賞した。
- ・未来を担う子どもたちのために『足利市こども夢基金』を創設した。

7月

- ・2022いちご一会とちぎ国体の会場となるビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

8月

- ・足利高校、足利女子高校統合に際し、市民会館用地を提供することを発表した。
- ・市議会がタブレット端末を導入した。

9月

- ・友好都市の済寧市(中国)と友好都市締結35周年を迎えた。
- ・五十部町競馬場跡地に渋谷スクランブル交差点のオープンセットが建設された。
- ・35回目の節目を迎えた薪能が記念事業として足利薪能と足利薪狂言を2夜連続で開催された。
- ・あがた駅南産業団地の造成が完了した。

10月

- ・朝倉・福富緑地『わたらせ健幸緑地』の供用を開始した。
- ・令和元年東日本台風が各地を襲い、本市も甚大な被害を受けた(被害総額88億円超、死者1名、中等症2名、住家被害845件)。
- ・水道庁舎が県庁足利庁舎に移転した。
- ・『全国足利氏ゆかりの会』総会が足利義兼公没後820年記念として開催された。

2020年(令和2年)

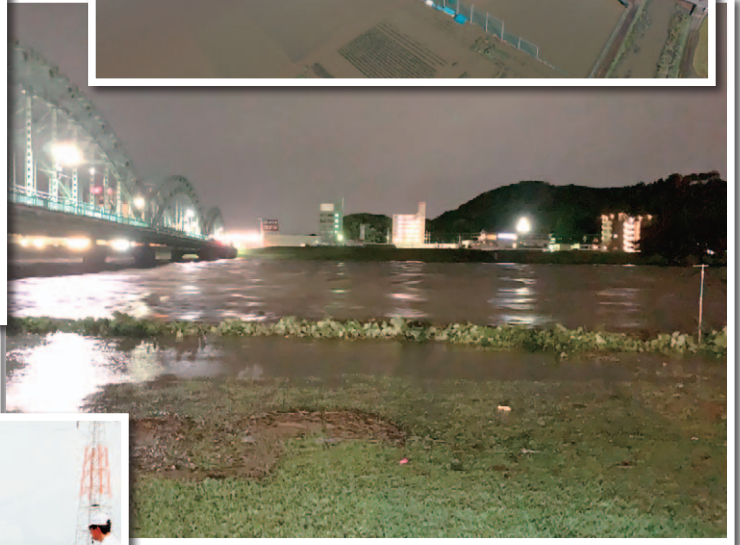
1月

- ・市民会館を取り壊し、跡地を足利高等学校・足利女子高等学校新校舎整備用地とすることで県と基本合意を締結した。
- ・第10回ロケーションジャパン大賞でドラマ『今日から俺は!!』と本市の取り組みが特別賞を受賞した。



◀ 令和2年10月撮影・あがた駅南産業団地。

▼ 令和元年東日本台風の被害の様子。



◀ 令和元年7月・ビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

▼ 令和元年9月・足利薪能、足利薪狂言▼



2月

◆全世界的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振り始めた。

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。
- ・プレミアム刀剣展『冬の國廣と一門』を開催した。

3月

- ・総合運動場陸上競技場の改修工事が完了した。
- ・県道名草小俣線小俣立体の供用を開始した。

4月

◆新型インフルエンザ等対策特別措置法(いわゆる新型コロナウイルス特措法)に基づく緊急事態宣言が発令された。

- ・スマートフォンアプリを活用した健幸マイレージ事業『足すと』が始動した。
- ・市民活動センターが生涯学習センターへ移転した。

5月

- ・市道鹿島山下通り(山前アンダー)が開通した。

6月

- ・足利市医師会によるPCR検査センターが開設された。

7月

- ・総合運動場硬式野球場の改修工事が竣工した。
- ・中橋の架け替え方針が決定された。

8月

- ・史跡足利学校大成殿『平成・令和の大修理』が完了した。

10月

- ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結30周年記念式典をオンラインで開催した。

11月

- ・足利市自治会長連絡協議会が『設立60周年記念式』を開催した。
- ・県知事選挙で、コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)に期日前投票所を初開設した。

2021年(令和3年)

1月

◆国の新型コロナウイルス特別措置法に基づく2回目の緊急事態宣言が発出され、栃木県も対象区域に追加された。

- ・史跡足利学校庠主に五味文彦さんが就任した。
- ・市に『新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム』が設置された。
- ・成人式が新型コロナウイルス感染予防のため中止され、10月31日に延期された。
- ・市制100周年記念NHKのど自慢が新型コロナウイルス

感染予防のため中止された。

・地元の歴史を盛り込んだ市制100周年記念『歴史すてろく』が全戸配布された。

・市制100周年記念企画展『足利市の軌跡』が小俣町ふるさと学習・資料館で開催された。

・市制100周年記念『みんなの両毛線フェスタ!』がJR足利駅構内で開催された。

・中橋架け替えに向けた都市計画法に基づく公聴会が開催された。

・鎧年越が新型コロナウイルス感染予防のため中止された。

2月

・新型コロナウイルスに感染し自宅療養となった市民を支援するため、市が日用品を自宅に届ける取り組みを開始した。

・松田川の水質改善値が全国2,572地点中第1位となった。

・新型コロナウイルスのワクチン保管用の超低温冷凍庫が国から市に2台配置された。

・市が令和元年に発生した台風19号の被災状況や今後の取り組み等をまとめた『令和元年東日本台風 足利市の記録』を発行した。

・新型コロナウイルスの影響でテレワークが推奨される中、市の『足利市宿泊施設活用テレワーク促進実証事業』がスタートした。

・足利市民会館での最後のNHK交響楽団(N響)の定期演奏会が開催された。

・西宮林野火災が発生し、県内外の消防職員や自衛隊ヘリコプター、県防災ヘリコプターと連携し消火活動を行ったが、167ヘクタールを焼失した(避難勧告305世帯、被害総額約3,700万円)。

・東幸楽荘で新型コロナワクチン接種の実地演習を行った。

3月

・水道供給90周年記念『足利の自然水』を販売した。

・医療従事者を対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種が開始された。

・コロナ禍で苦しむ市内飲食店を支援するため、足利清風高校の生徒が発案し、キッチンカー4店舗を校内に招待し、生徒400人と教職員が丼物やデザートなどを購入した。

・キッズピアあしかがの来場者が100万人を超えた。

・消防本部の新庁舎が完成した。

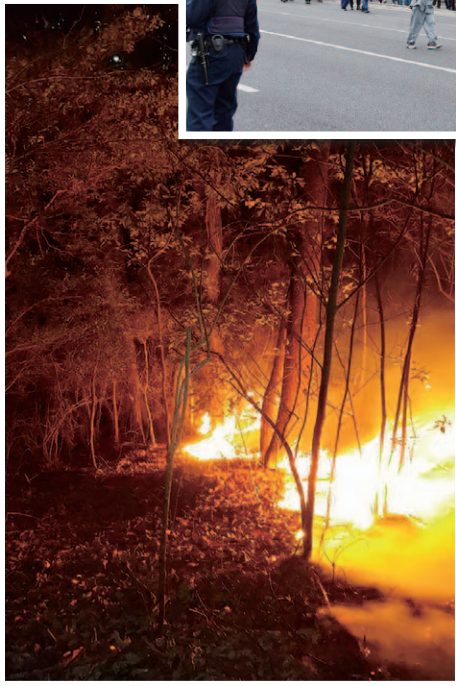
▼令和3年3月・聖火リレーの様子。



▼令和3年1月・文化財防火デーにともない、史跡足利学校で放水訓練を行った。



▲令和3年2月・新型コロナワクチン接種実地演習の様子。



◀令和3年2月・西宮林野火災の様子。



◀▲令和3年4月・足利灯り物語。



・県内の東京2020オリンピック聖火リレーが本市を皮切りに開催された。

4月

- ・名草保育所をきた保育所に統合した。
- ・市が行政手続1,803件の押印を廃止した。
- ・市が無料通信アプリ『LINE』の公式アカウントを運用した市政情報の発信を開始した。
- ・あしかがフラワーパークの『大藤まつり』が2年ぶりに開催された。
- ・高齢者施設入所者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種を開始した。

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う3回目の緊急事態宣言が発令された。

5月

- ・75歳以上の方向けの新型コロナウイルスのワクチン集団接種を開始した。
- ・歌手の森高千里さんのコンサートが8年ぶりに市民会館で開催された。

6月

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、足利花火大会が2年連続で中止となった。
- ・全足利が社会人野球日本選手権大会に初出場した。
- ・市民会館が55年の歴史に幕を閉じた。

7月

◆新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う4回目の緊急事態宣言が発令された。

◆東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された。



▲令和3年5月撮影・新消防庁舎・中央消防署。



▲令和3年6月・監督を胸上げする全足利の選手たち。



▲市民会館大ホールと緞帳。

▼令和3年1月・足利の街並みを撮影した航空写真。



